

1. 人口、世帯数、年齢別人口
 - 図1 人口、世帯数、平均世帯規模の動向
 - 図2 年齢5歳別人口の動向
 - 表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向
2. 世帯の状況(1)
 - 図3 核家族、単独世帯の動向(比率)
 - 図4 規模別世帯数の動向
 - 図5 世帯主の年齢別家族の類型別世帯数(H22)
3. 世帯の状況(2)
 - 図6 6歳未満の子どもがいる世帯の動向
 - 図7 高齢者がいる世帯数の動向
 - 表2 高齢者世帯の動向
 - 図8 高齢者がいる世帯数の近年の動向
 - 図9 高齢者がいる世帯数の割合(H26)
4. 年齢別人口
 - 図10 年齢5歳別人口構成の比較(H26)
 - 図11 年齢5歳階級別人口の推移率(対前5年)
 - 図12 年齢別人口の動向
5. 人口異動
 - 図13 人口異動(転出入と出生死亡)の動向
 - 図14 年齢5歳別転入人口の動向
 - 図15 年齢5歳別転出人口の動向
 - 図16 年齢5歳別移動人口の動向
6. 介護認定の状況等
 - 図17 介護認定者数の65歳以上の人口に対する比率
 - 図18 介護度別の要介護認定者数の動向
 - 図19 介護度別の要介護認定者数の構成比(H26)
 - 図20 認知症高齢者の日常生活自立度(平成26年3月末)
7. 年齢別人口、高齢者世帯の動向と推計
 - 図21 年齢別人口の動向と推計
 - 図22 年齢別人口の動向と推計(比率)
 - 図23 高齢の単身世帯、夫婦のみ世帯の動向と推計
8. 高齢者の様子(1)
 - 図24 介護が必要になった理由-要支援者
 - 図25 介護が必要になった理由-要介護者
 - 図26 介護保健在宅利用サービス-要支援者
 - 図27 介護保健在宅利用サービス-要介護者
9. 高齢者の様子(2)
 - 図28 主な介護者-要支援者
 - 図29 主な介護者-要介護者
 - 図30 日常生活の自立度-要支援者
 - 図31 日常生活の自立度-要介護者
10. 地区の位置
 - 図32 地区の位置
11. 地区別比較(1)人口、世帯数、平均世帯規模の動向
 - 図33 地区別人口の動向
 - 図34 地区別世帯数の動向
 - 図35 地区別平均世帯規模の動向
12. 地区別比較(2)人口、世帯数、平均世帯規模の動向
 - 図36 人口の地区別比較
 - 図37 世帯数の地区別比較
 - 図38 平均世帯規模の地区別比較
13. 地区別比較(3)年齢別人口
 - 図39 年齢別人口構成の地区別比較(H26)
14. 地区別比較(4)就業者の従業地
 - 図40 区内に住む就業者の従業地の地区別比較(H22)
15. 住宅(1)建て方別住宅の分布
 - 図41 住宅の建て方別分布
16. 住宅(2)住宅の所有関係、住宅の建て方
 - 図42 住宅の所有関係別世帯の地区別比較(H22)
 - 図43 住宅の建て方別世帯の地区別比較(H22)
17. 居住年数、5年前の住所
 - 図44 居住年数別人口の地区別比較(H22)
 - 図45 5年前の住所別人口の地区別比較(H22)
18. 子育て支援(1)施設の分布
 - 図46 子育て支援施設の分布
19. 子育て支援(2)子育て世代と就学前の子ども
 - 図47 6歳未満の子どもがいる世帯の地区別比較(H22)
 - 図48 25~39歳人口密度(H26)
 - 図49 25~39歳人口増減率(H21~26)
20. 子育て支援(3)子育て世代と就学前の子ども
 - 図50 0~2歳人口密度(H26)
 - 図51 0~2歳人口増減率(H21~26)
 - 図52 3~5歳人口密度(H26)
 - 図53 3~5歳人口増減率(H21~26)
21. 教育
 - 図54 教育施設の分布
22. 診療所・医院
 - 図55 診療所・医院の分布
23. 健康・保健医療・障害者支援
 - 図56 病院、高齢者施設、障害児者施設の分布
24. 医療、社会福祉、介護等の就業機会
 - 図57 医療業従業者密度
 - 図58 社会福祉、介護等従業者密度
 - 図59 人口1000人あたり介護事業従業者数

地区別資料集では、以下の資料を収録しています。

- 25. 高齢者の動向、高齢者世帯の分布（1）高齢者のいる世帯
 - 図 60 65 歳以上の高齢者がいる世帯の地区別比較（H22）
 - 図 61 高齢者がいる世帯密度（H26）
 - 図 62 高齢者がいる世帯の増減率（H21～26）
- 26. 高齢者の動向、高齢者世帯の分布の状況
 - 図 63 高齢単身世帯の密度（H26）
 - 図 64 高齢単身世帯の増減率（H21～26）
 - 図 65 高齢者のみの世帯の密度（H26）
 - 図 66 高齢者のみの世帯の増減率（H21～26）
- 27. 避難場所等
 - 図 67 避難場所等の位置
- 28. 区民利用施設
 - 図 68 区民利用施設の分布
- 29. バスの運行状況と鉄道利用状況
 - 図 69 バスの運行状況と鉄道利用状況
- 30. 商業施設等の分布
 - 図 70 商業施設等の分布
- 31 商業施設等の従業者
 - 図 71 飲食料品小売業従業者密度
 - 図 72 飲食店従業者密度
 - 図 73 生活関連サービス業等従業者密度
- 32 工場等の分布
 - 図 74 工場等の分布
- 33. 製造業等の就業機会
 - 図 75 事業所の従業者（民間総数）密度
 - 図 76 製造業の従業者密度
- 34. 農地、樹林地等の状況
 - 図 77 農地、樹林地等の状況
- 1. 地区の位置と概況
 - 図 1 地区の位置
 - 表 1 人口、世帯数、年齢別人口の動向
- 2. 人口、世帯数、年齢別人口等の動向
 - 図 2 人口、世帯数、平均世帯規模
 - 図 3 年齢別人口
 - 図 4 人口異動
 - 図 5 年齢5歳別人口
 - 図 6 年齢5歳別人口の増減
 - 図 7 年齢5歳別人口の推移率（変化率）
- 3. 世帯の様子（1）
 - 図 8 類型別家族数
 - 図 9 類型別家族の比率
 - 図 10 高齢者のいる世帯、6歳未満のいる世帯
 - 図 11 高齢者のいる世帯、6歳未満のいる世帯の比率
 - 図 12 6歳未満の子供の暮らし方
 - 図 13 6歳未満の子供の暮らし方の比率
- 4. 世帯の様子（2）
 - 図 14 高齢者の暮らし方
 - 図 15 高齢者の暮らし方比率
 - 図 16 住宅の所有関係別世帯
 - 図 17 住宅の建て方別世帯
 - 図 18 世帯規模別世帯数
 - 図 19 居住年数
- 5. 世帯の様子（3）高齢者世帯の最近の動向
 - 表 2 高齢者世帯の動向
 - 図 20 高齢者がいる世帯数の近年の動向
 - 図 21 高齢者がいる世帯数の割合（H26）
 - 図 22 要介護認定者の比率（対65歳以上人口）
 - 図 23 要介護認定者の動向
- 6. 年齢別人口の見通し
 - 図 24 年齢別人口の見通し
 - 図 25 年齢別人口比率の見通し（比率）
- 7. 町丁別人口、世帯数、世帯規模の動向
 - 図 26 町丁別人口
 - 図 27 町丁別世帯数
 - 図 28 町丁別平均世帯規模
- 8. 町丁目別年齢別人口
 - 図 29 町丁目別・年齢別人口の割合
 - 表 3 町丁目別・年齢別人口

1. 人口、世帯数、年齢別人口

●人口、世帯数は安定、世帯規模は縮小

戸塚区の平成26年9月末の人口は、275,968人、世帯数は119,211世帯、平均世帯規模は2.31人/世帯です。

人口、世帯数は近年安定した状態が続いています。平均世帯規模は縮小傾向が続いています。平均世帯規模は横浜市の平均(2.16人/世帯)に比べやや大きくなっています。(図1、表1参照。)

●年齢構成の変化がすすんでいる - 生産年齢人口、年少人口が減少し高齢者が増加

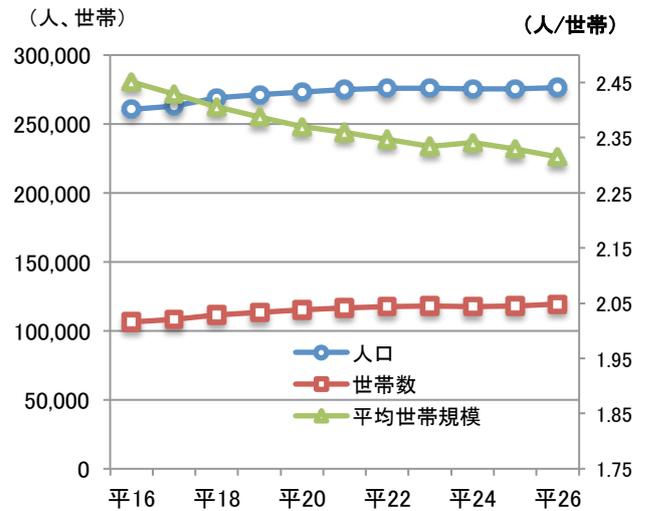
年齢5歳別の人口をみると、40～44歳にピークがあり、次いで60～74歳に緩やかなピークがある構成をしています。最近10年間は加齢が進んでいます(年齢構成のグラフが形を変えずに右に動いている)。(図2参照)

年少人口(0～14歳)は、平成21～26年の期間は減少になりました。平成26年9月末の人口比率は14.0%で市の平均と比べてわずかに高くなっています。

生産年齢人口は減少が続いており、減少傾向が強まっています。人口比率は63.1%で市の平均と比べてわずかに低くなっています。

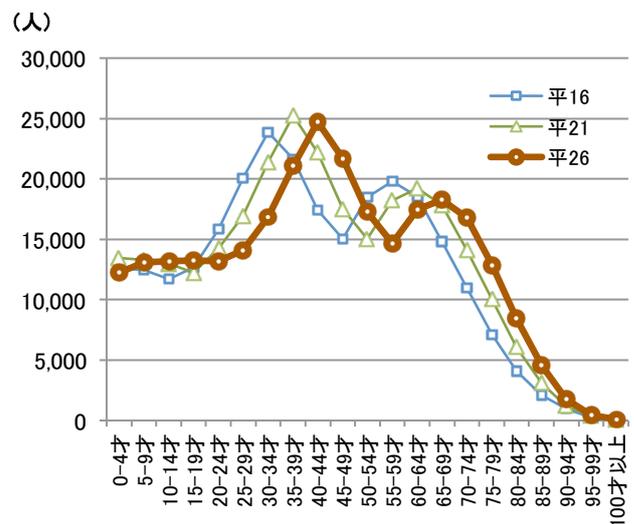
高齢人口の増加傾向は続いています。人口比率は22.9%で、市の平均をわずかに上回っています。(表1参照)

図1 人口、世帯数、平均世帯規模の動向



*「町別世帯と人口」による。各年9月末現在

図2 年齢5歳別人口の動向



*「町丁別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在。

表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	平成16年	平成21年	平成26年	平成16～21年増減	平成21～26年増減	平成21年構成比(%)	平成26年構成比(%)	平成26年市平均値
人口総数 (人)	260,431	274,656	275,968	14,225	1,312	100.0	100.0	100.0
0～14歳人口 (人)	36,725	39,690	38,525	2,965	-1,165	14.5	14.0	13.0
(内0～5歳) (人)	15,165	16,114	14,837	949	-1,277	5.9	5.4	5.1
15～64歳人口 (人)	183,347	182,246	174,202	-1,101	-8,044	66.4	63.1	64.5
(内20～24歳) (人)	15,847	14,272	13,197	-1,575	-1,075	5.2	4.8	5.0
(内25～39歳) (人)	65,627	63,567	51,990	-2,060	-11,577	23.1	18.8	19.6
65歳以上人口 (人)	40,359	52,720	63,241	12,361	10,521	19.2	22.9	22.5
(内65～74歳) (人)	25,760	31,933	35,030	6,173	3,097	11.6	12.7	12.2
(内75歳以上) (人)	14,599	20,787	28,211	6,188	7,424	7.6	10.2	10.2
世帯総数 (世帯)	106,276	116,390	119,211	10,114	2,821			
平均世帯規模 (人/世帯)	2.45	2.36	2.31	-0.09	-0.04			2.16

*各年「町別世帯と人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在。

2. 世帯の状況 (1)

*各年「国勢調査」結果による。各年 10月1日現在。

図3 核家族、単独世帯の動向 (比率)

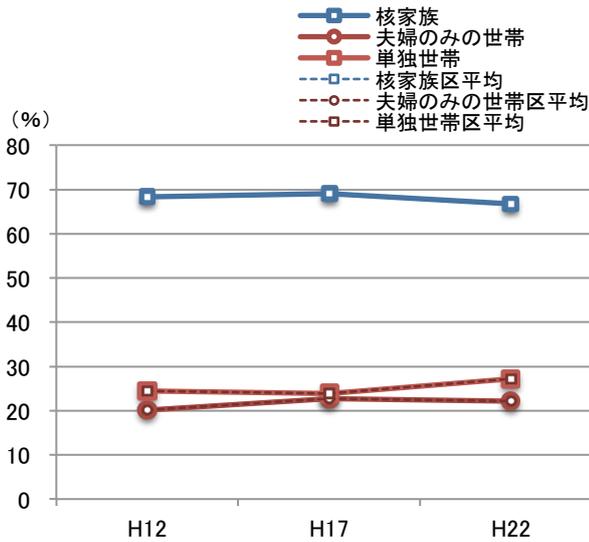


図4 規模別世帯数の動向 (世帯)

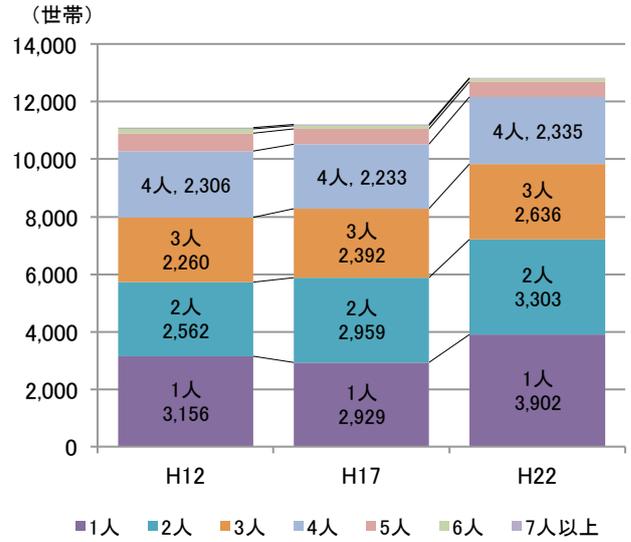
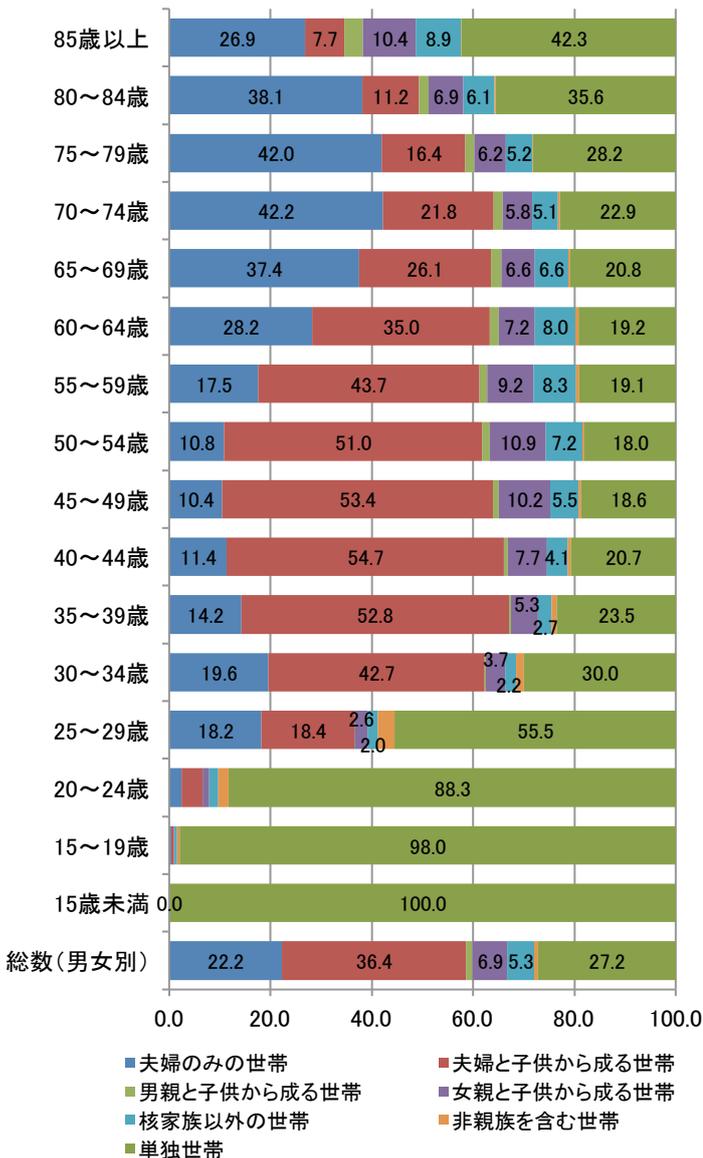


図5 世帯主の年齢別家族の類型別世帯数 (H22)



●規模の小さい世帯が多く、単身世帯が増加

家族の種類のうち、核家族と単独世帯の合計は平成22年時点で、一般世帯の93.9%を占めています。また、「単独世帯」と核家族に含まれる「夫婦のみの世帯」は合計で一般世帯の49.4%で、規模の小さい世帯が多くを占めています。(図3参照)

規模別に一般世帯数の動向をみると、単身世帯(単独世帯)中心に世帯数が増加したことがわかります。(図4参照)

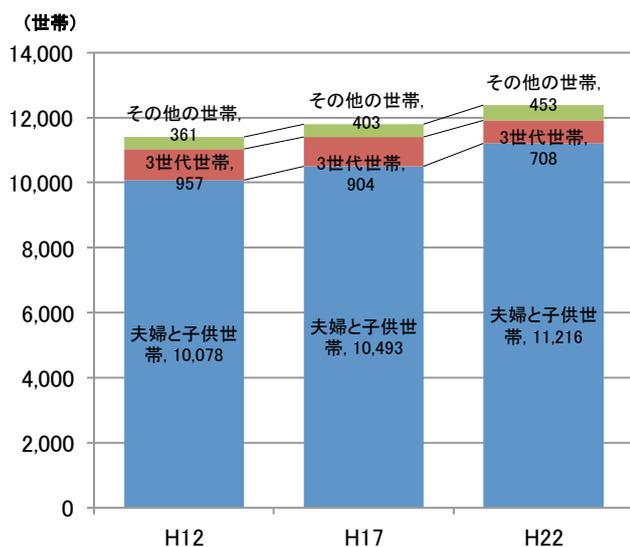
- *「一般世帯」:国勢調査では、世帯を全体の約99.9%(平成22年。戸塚区の場合)を占める「一般世帯」と病院や寮、高齢者施設等に住む「施設等の世帯」に分けています。
- *「一般世帯」は「親族のみの世帯」、「非親族を含む世帯」、「単独世帯」に分けられます。
- *「核家族」は親と子どもの世帯で「親族による世帯」含まれます。また「夫婦のみの世帯」は「核家族」の種類の一つです。

●世帯主の年齢が35~54歳の世代では夫婦と子供の世帯が過半を占めている

世帯主の年齢が35~54歳の世代では夫婦と子供の世帯が過半を占めており、25~34歳の世代の夫婦と子供の世帯の比率も市の平均と比べて高くなっています。子育て世帯や子供と同居をづづける夫婦が多いことを示しています。(横浜市の平均では世帯主が35~55歳の世代の比率は50%を超えない。また、夫婦と子供の世帯の比率は、世帯主が25~29歳で13.4%、30~34歳で33.0%である。平成22年国勢調査)(図5参照)

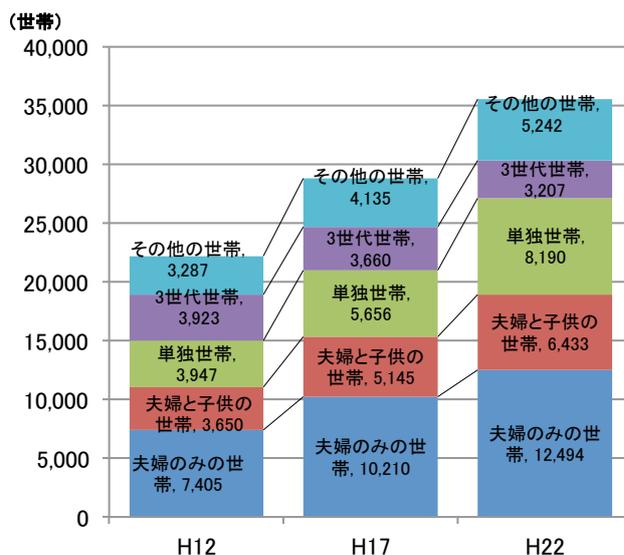
3. 世帯の状況（2）

図6 6歳未満の子どもがいる世帯の動向



*国勢調査結果による

図7 高齢者がいる世帯数の動向



*国勢調査結果による

表2 高齢者世帯の動向

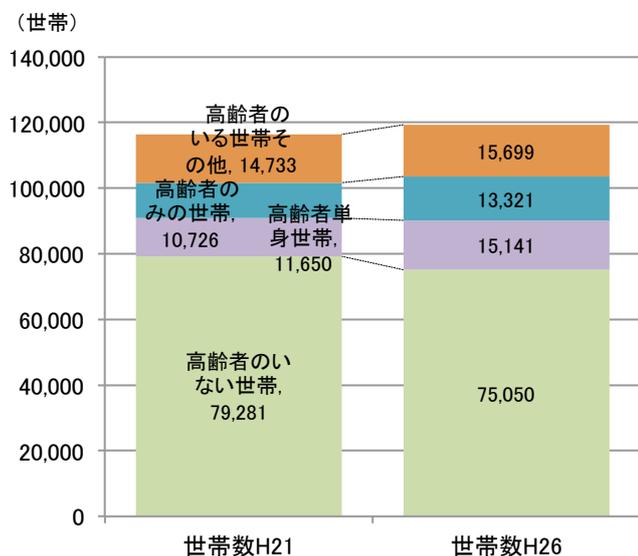
	H21	構成比H21 (%)	H26	構成比H26 (%)	増加数H21 ~26	増加率H21 ~26 (%)	区平均構成比H26 (%)
世帯総数	116,390	100.0	119,211	100.0	2,821	2.4	100.0
高齢者のいない世帯	79,281	68.1	75,050	63.0	▲ 4,231	▲ 5.3	63.0
高齢者のいる世帯	37,109	31.9	44,161	37.0	7,052	19.0	37.0
高齢者単身世帯	11,650	10.0	15,141	12.7	3,491	30.0	12.7
高齢者のみの世帯	10,726	9.2	13,321	11.2	2,595	24.2	11.2
高齢者のいる世帯その他	14,733	12.7	15,699	13.2	966	6.6	13.2

*戸塚区資料による

*世帯の集計方法が異なるので、国勢調査結果の集計値との間に差がある。

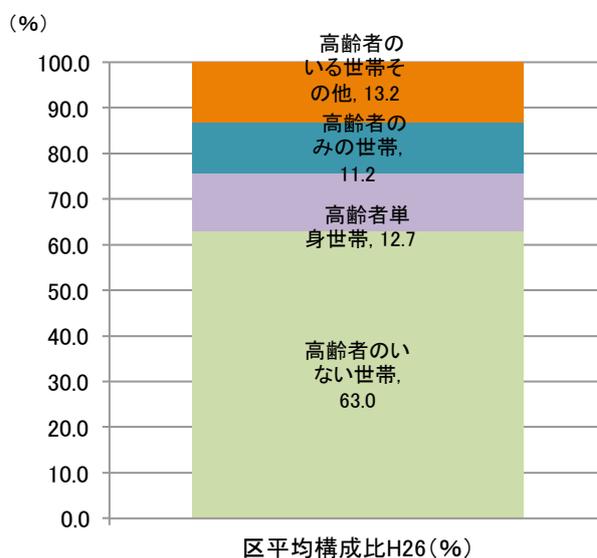
*戸塚区資料による

図8 高齢者がいる世帯数の近年の動向



*戸塚区資料による

図9 高齢者がいる世帯数の割合（H26）



4. 年齢別人口

*「町丁別年齢別男女別人口」による。9月末現在

図 10 年齢 5 歳別人口構成の比較 (H26)

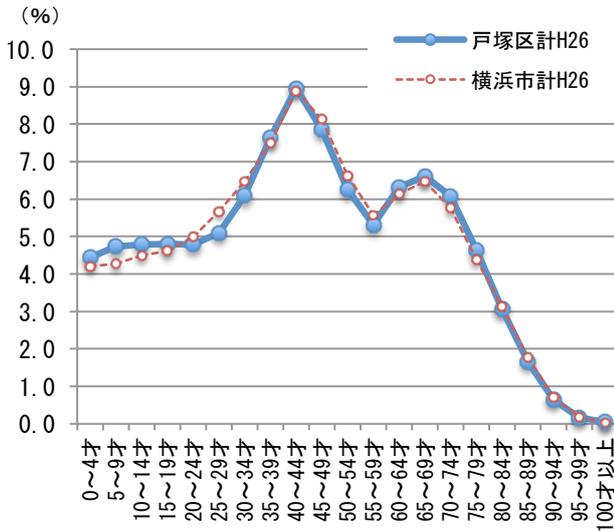
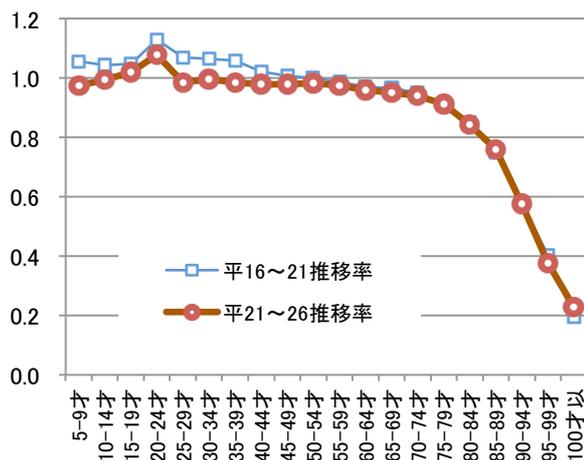
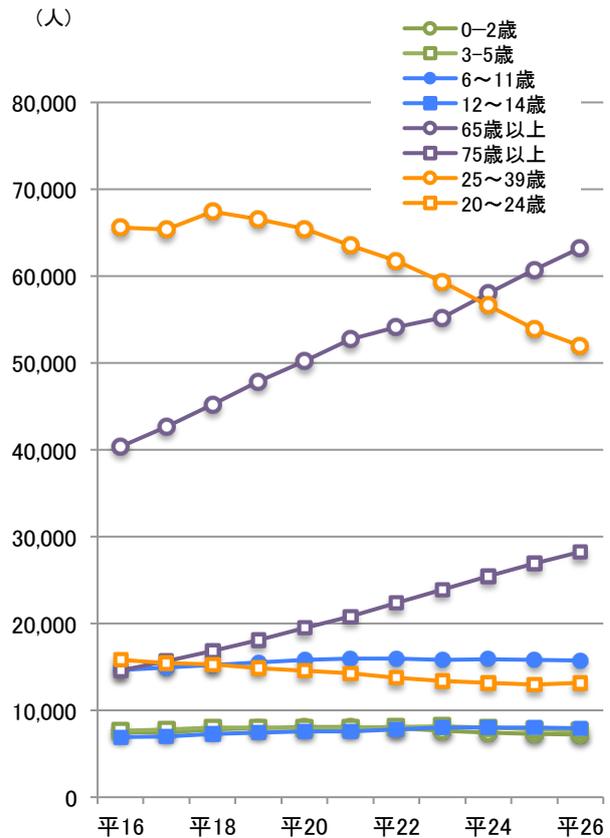


図 11 年齢 5 歳階級別人口の推移率(対前 5 年)



*「町丁別年齢別男女別人口」による。各年 9 月末現在
 *推移率: 上記の場合は、年齢 5 歳階級人口の各階級の人口が、死亡、転出入によって 5 年間で現在の階級高齢の人口になる割合。

図 12 年齢別人口の動向



●市平均に近い年齢構成

年齢別人口は、ほぼ横浜市の平均に近い構成になっています。(図 10 参照)

●子育て世代を中心とした転入増加傾向がやや弱くなっている

年齢 5 歳毎の人口の変化の傾向(推移率)は平成 16~21 年に比べて、平成 21~26 年の期間は、44 歳以下の年齢で推移率が小さくなっています。平成 23 年以降、転出が転入を上回るようになってきています。(図 11, 13, 14, 15 参照)

●子育て世代が減少、高齢者が増加している

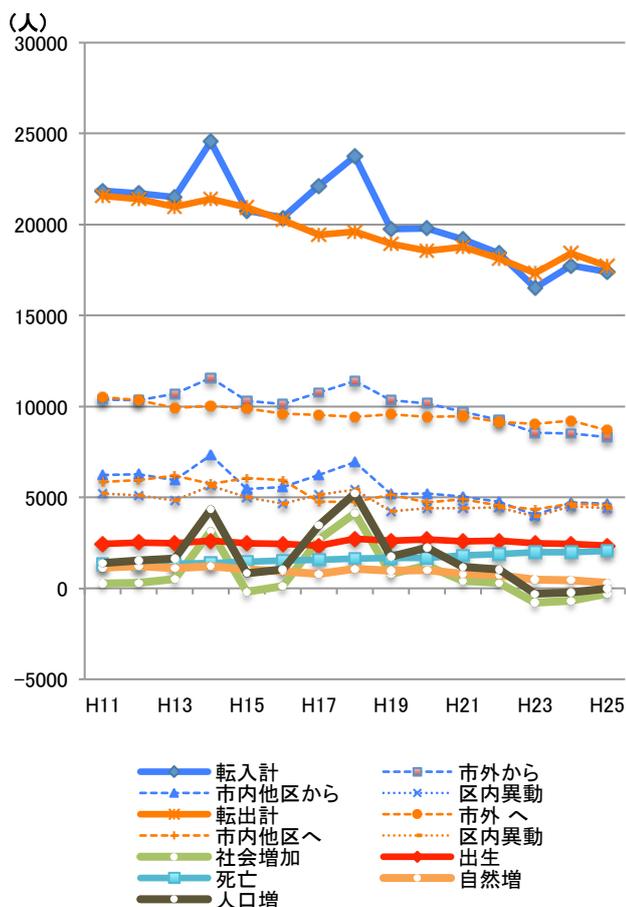
25~39 歳(子育て世代)の人口が減少し、65 歳以上(高齢者)や 75 歳以上(後期高齢者)が増加しています。

25~39 歳の人口の減少は、平成 16 年当時人口の多かった世代が加齢し 25~39 歳の子育て年齢から 40 歳代になったことや、25~39 歳の年齢層の転出入が弱まり、転出超過になってきていることが要因と考えられます。

同じように、平成 16 年当時 55~59 歳を中心にピークを形成していた年代が加齢し徐々に高齢期になったことにより高齢人口が増加しています。(図 12, 8 参照)

5. 人口異動

図 13 人口異動（転出入と出生死亡）の動向



●活発な転出入が続いている

転入、転出は徐々に減少する傾向が見られるものの、平成 25 年でも年間約 17,500 人前後の転出入（市内及び市外、区内転居）があります。転入と転出は、ほぼバランスのとれた状態が続いていますが、近年わずかながら転出超過傾向がみられます。

出生数が死亡数が上回っていますが、差は小さくなってきています。

市外移動は転入、転出ともそれぞれ年間ほぼ 9,000 人、市内移動は転入、転出ともそれぞれ年間ほぼ 5,000 人程度あります。区内移動（転居）は 5,000 人程度です。（図 13 参照）

●移動人口の年齢は 20～39 歳が中心

転入、転出とも 20～39 歳と 0～4 歳の子どもが多くなっています。また、転出、転入とも移動人口が少なくなってきました。

移動人口（転入-転出）の変化をみると、平成 20 年時点に比較して平成 26 年は転入超過人口が少なくなってきました。転出超過になっている年齢層が多くなっています。（図 14, 15, 16 参照）

図 14 年齢 5 歳別転入人口の動向

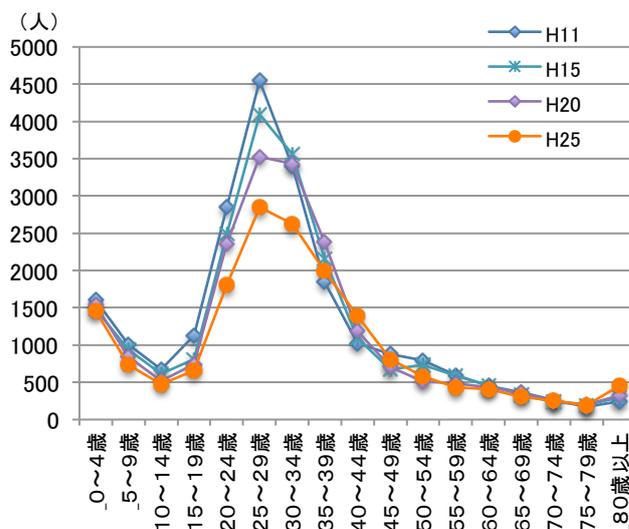


図 15 年齢 5 歳別転出人口の動向

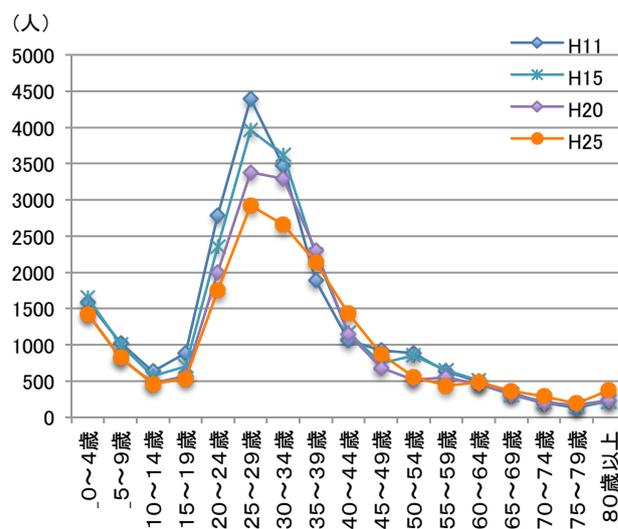
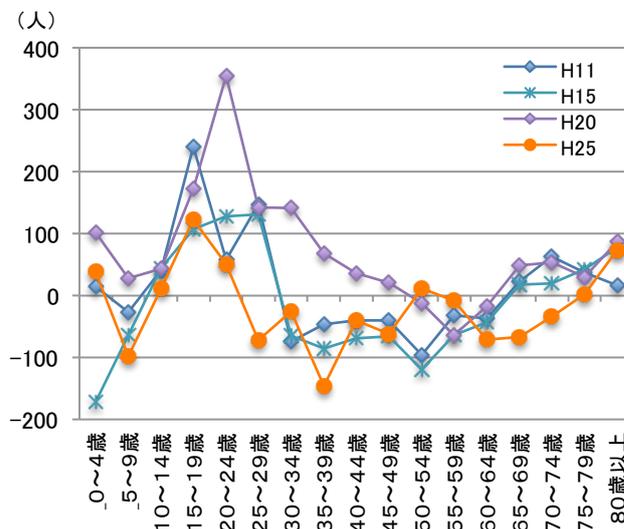


図 16 年齢 5 歳別移動人口の動向



6. 介護認定の状況等

*戸塚区資料による

図 17 介護認定者数の65歳以上の人口に対する比率

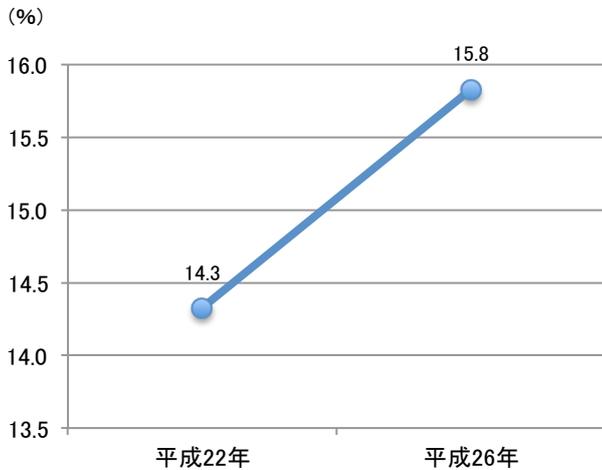
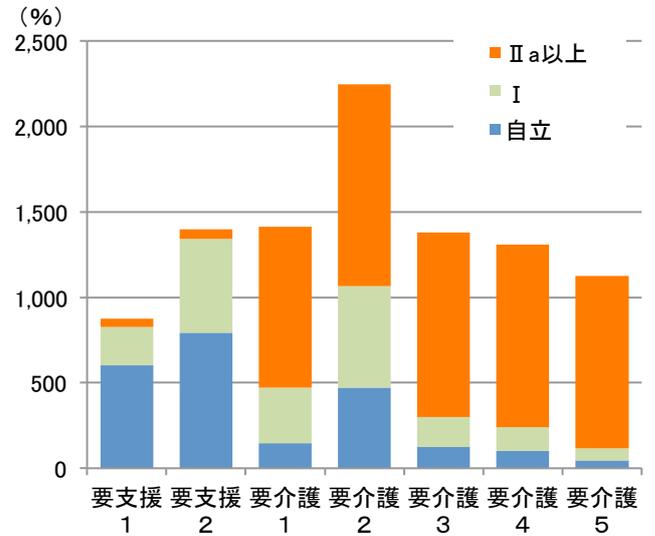


図 20 認知症高齢者の日常生活自立度



*「認知症高齢者の日常生活自立度」のうち、「自立度II(日常生活に支障を来すような症状・意思疎通の困難さが多少見られていても、誰かが注視していれば自立できる状態)」以上の状態で、認知症など何らかの支援や介護の必要な症状があるとされています。

図 18 介護度別の要介護認定者数の動向

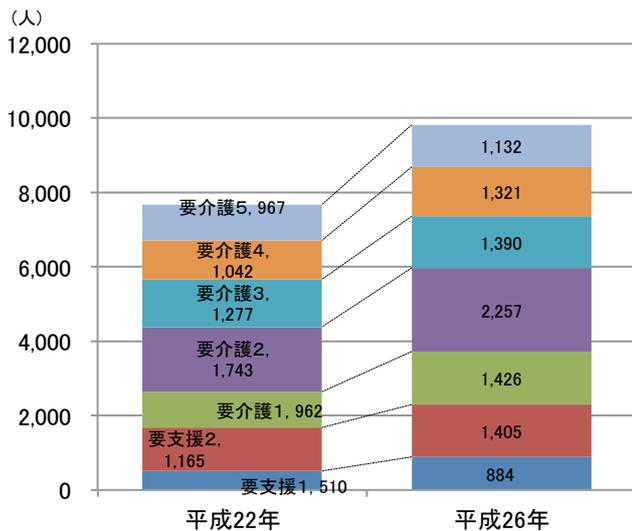
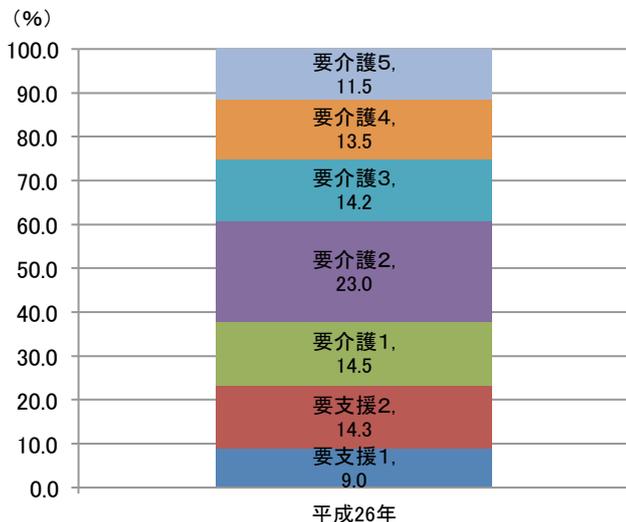


図 19 介護度別の要介護認定者数の構成比 (H26)



7. 年齢別人口、高齢者世帯の動向と推計

*平成 19～24 年の変化の傾向をもとに推計

図 21 年齢別人口の動向と推計

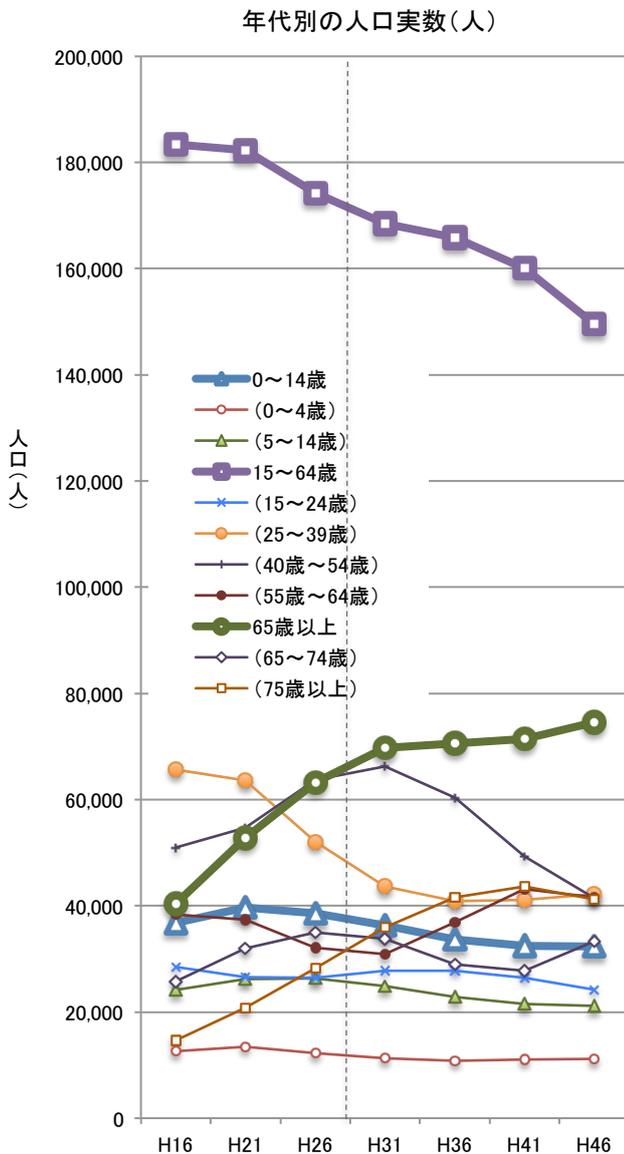


図 22 年齢別人口の動向と推計(比率)

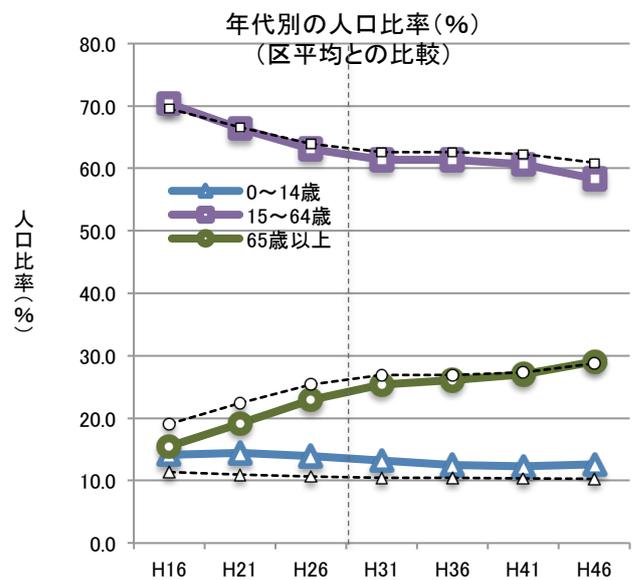
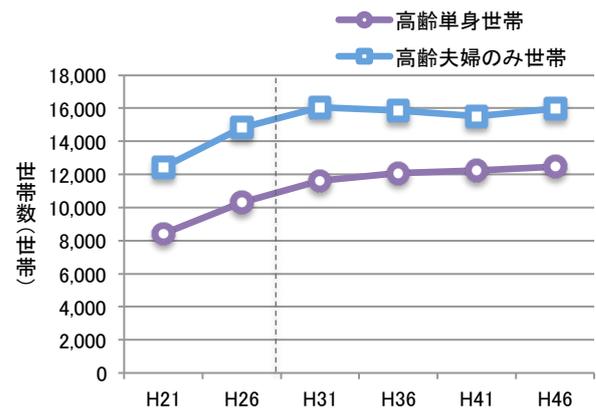


図 23 高齢の単身世帯、夫婦のみ世帯の動向と推計



*家族の類型別の推計に際して、単身世帯、夫婦のみ世帯の定義は国勢調査の類型を使用している。

●居住者特性の特徴と変化の傾向

- 1) これまで人口や世帯数の安定的な状態を支えてきた 20～24 歳の人口の転入増加傾向は今後も続くとしても、転入増加数は徐々に減少する傾向があります。(図 12,16 参照)
- 2) 25～39 歳(子育て期の世代)の人口は、当面、子育て世代の加齢や転出減少によって減少が続きますが、平成 36 年以降は安定します。(図 12,16 参照)
- 3) 子育て世代が減少するため、年少人口は当面緩やかな減少傾向が続きますが平成 42 年頃から安定します。
- 4) 20～24 歳の転入増加傾向が弱まること、25～39 歳の人口が減少することから、生産年齢人口

の減少傾向は続くと考えられます。

- 5) 今後、65 歳以上になる人口が、現在 65～69 歳の人口より少なくなると考えられます。この結果、今後 65 歳以上の人口の増加傾向は弱まり、安定化します。ただし 75 歳以上の高齢者の増加は平成 41 年頃まで続きます。(図 2, 21 参照)
- 6) 世帯主の年齢別の家族の構成が変わらないものとする、高齢の単身世帯や高齢の夫婦のみの世帯数は、平成 31 年頃まで増加傾向が続きます。その後は安定した状態が続くと考えられます。

8. 高齢者の様子（1）

*高齢者実態調査による

図 24 介護が必要になった理由-要支援者

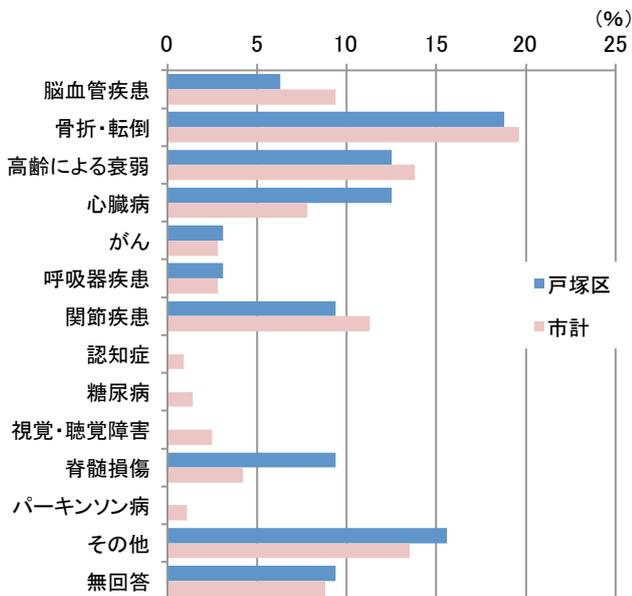


図 25 介護が必要になった理由-要介護者

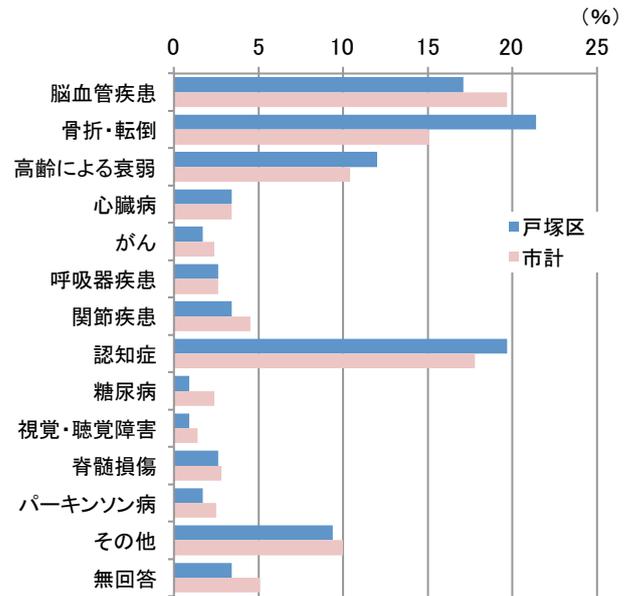


図 26 介護保健在宅利用サービス-要支援者

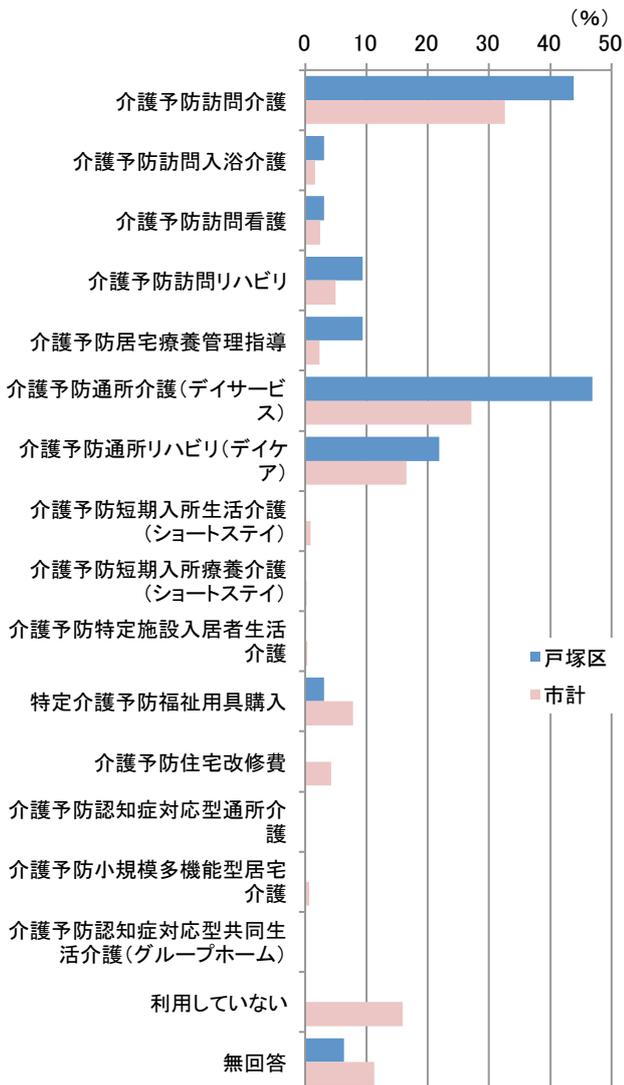


図 27 介護保健在宅利用サービス-要介護者

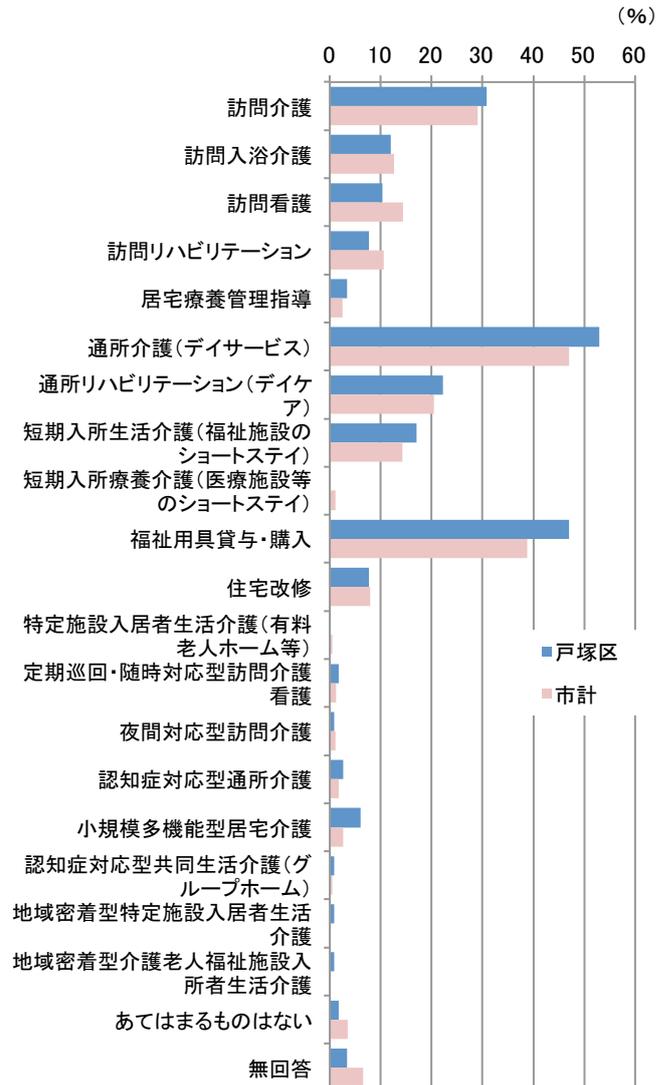


図 28 主な介護者-要支援者

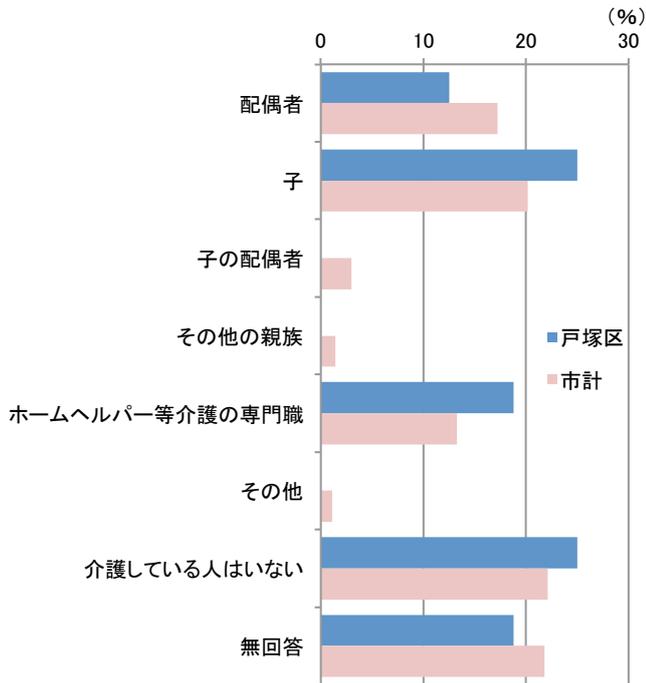


図 29 主な介護者-要介護者

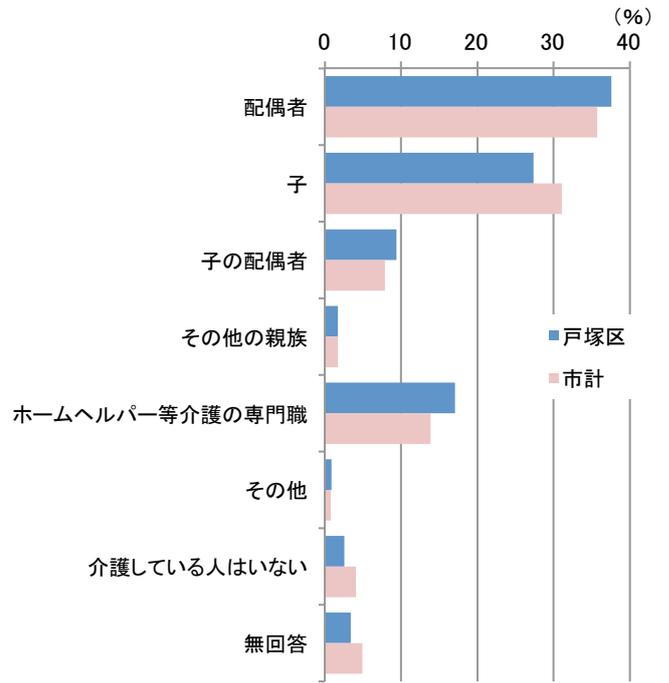


図 30 日常生活の自立度-要支援者

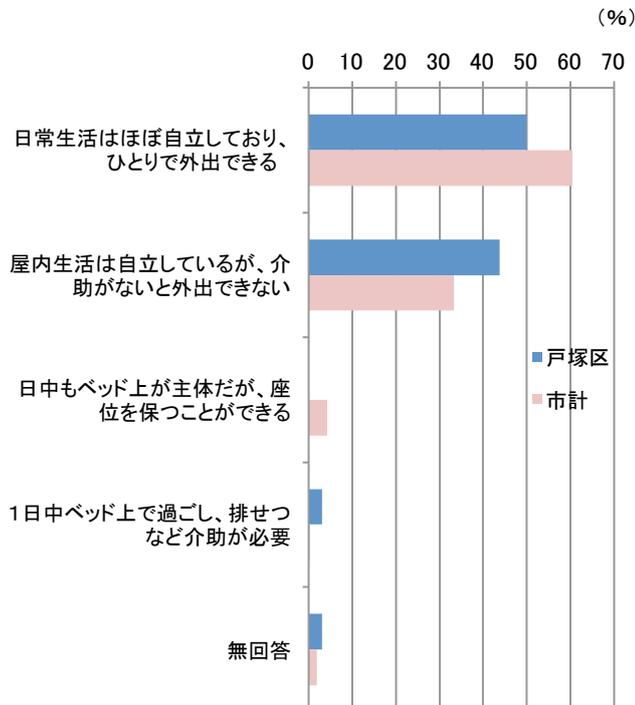
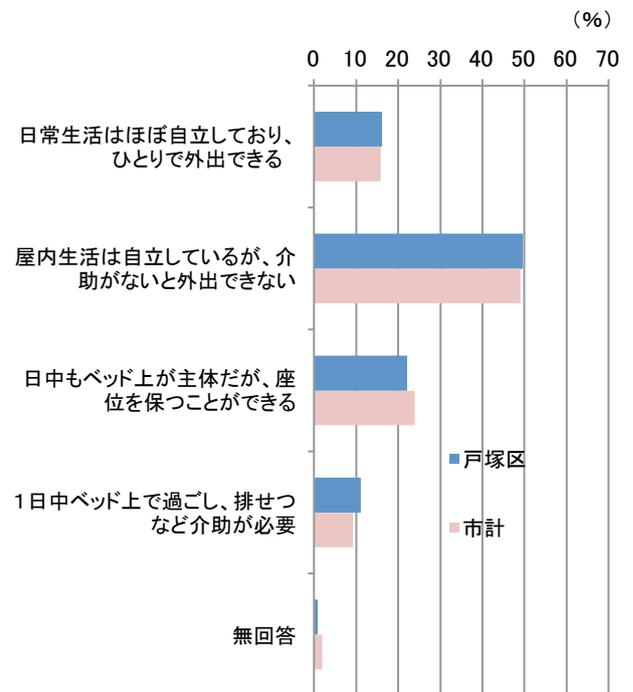


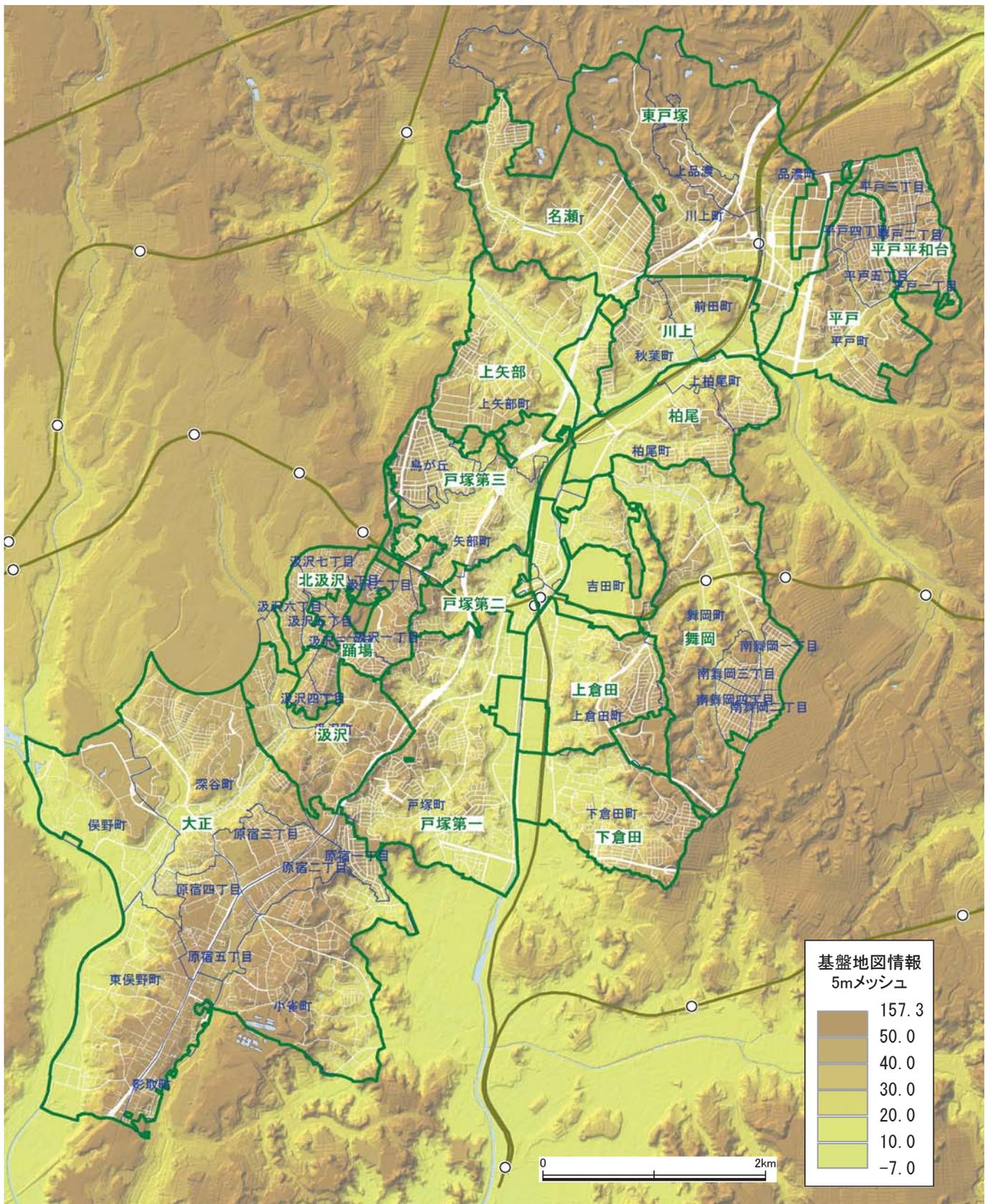
図 31 日常生活の自立度-要介護者



10. 地区の位置

図 32 地区の位置

*地形情報、国土地理院基盤地図情報による
*道路は都市計画基礎調査による



*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

11. 地区別比較（1）人口、世帯数、平均世帯規模の動向

*「町別世帯と人口」による。各年9月末現在

図 33 地区別人口の動向

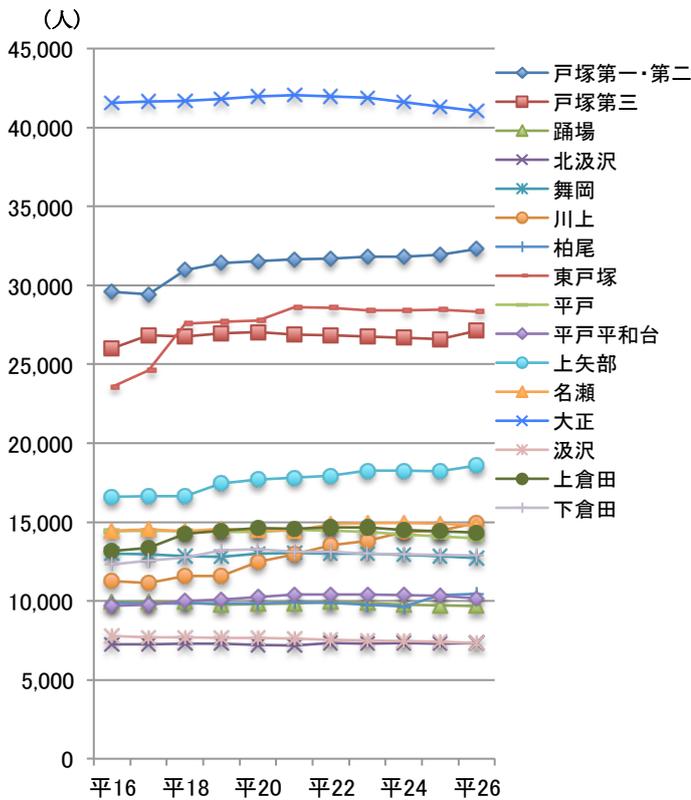


図 34 地区別世帯数の動向

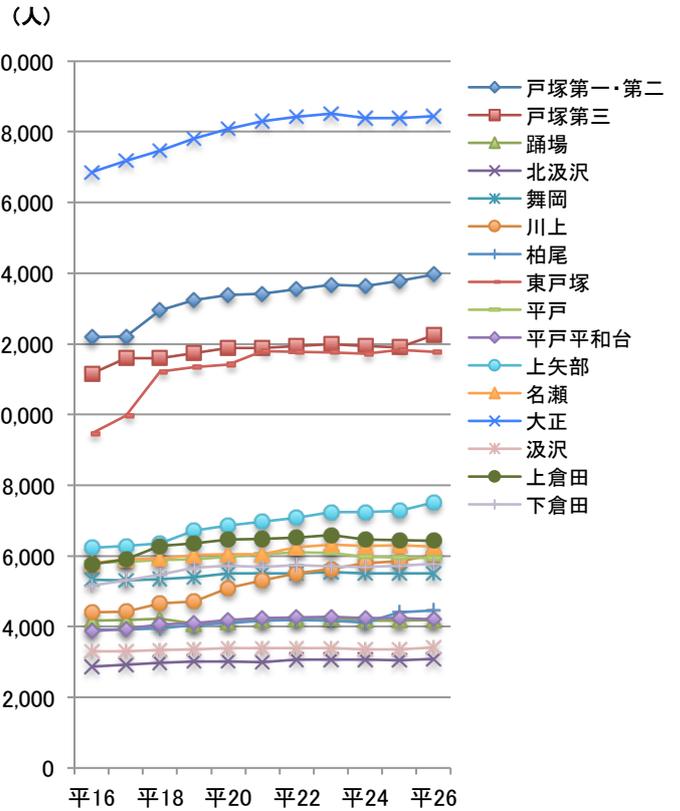
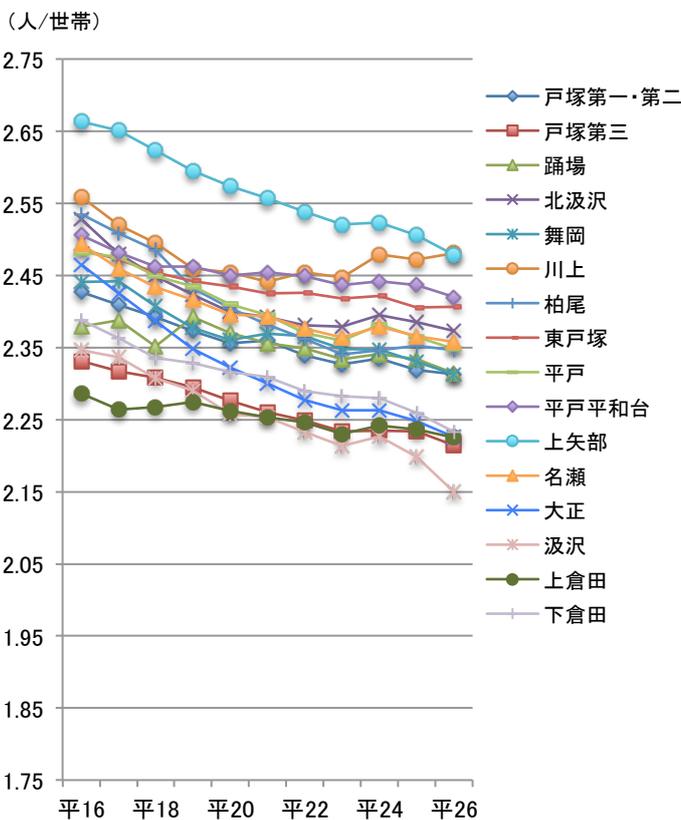


図 35 地区別平均世帯規模の動向



12. 地区別比較（2）人口、世帯数、平均世帯規模の動向

*「町別世帯と人口」による。各年9月末現在

図 36 人口の地区別比較

(人)

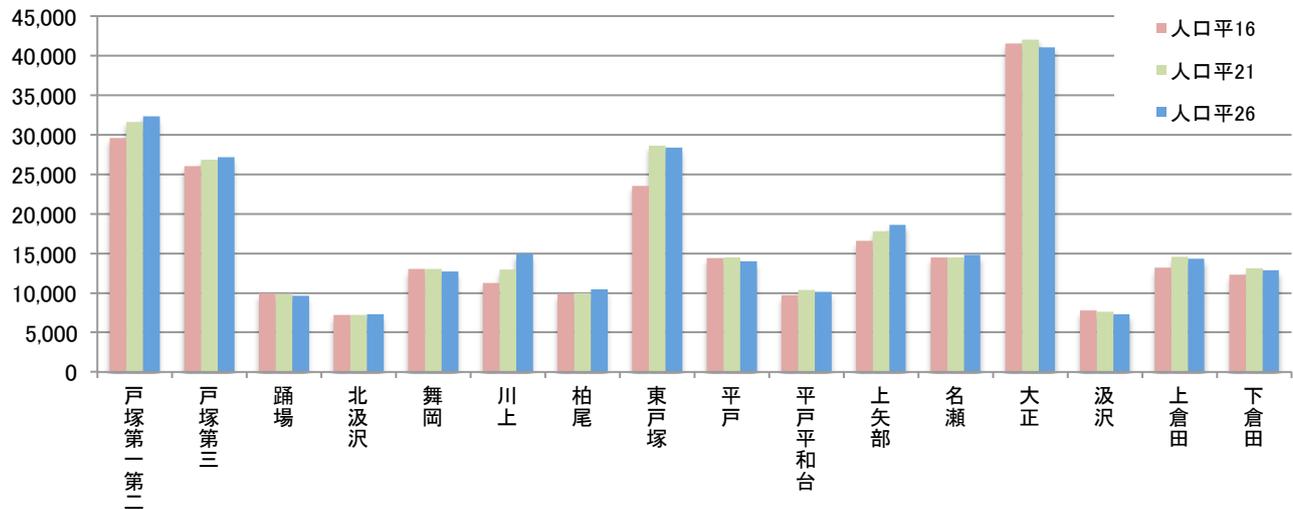


図 37 世帯数の地区別比較

(世帯)

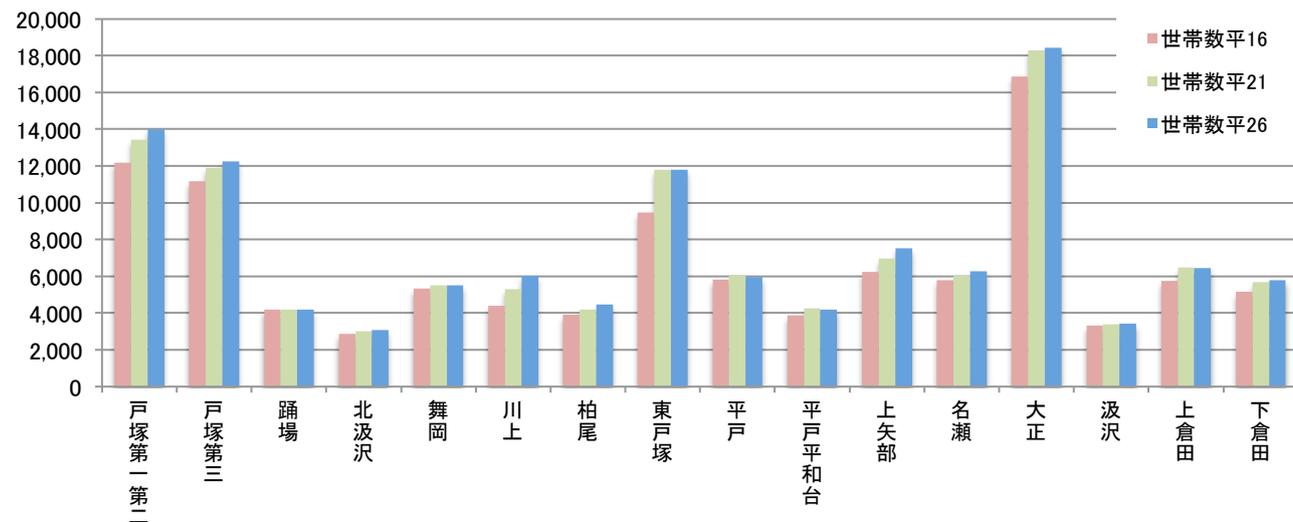
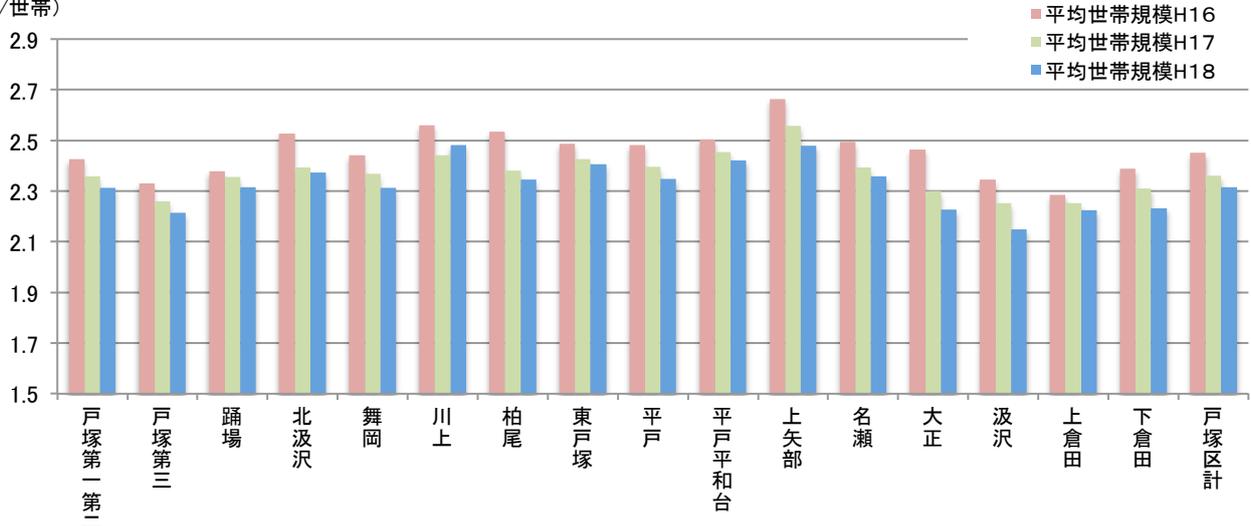


図 38 平均世帯規模の地区別比較

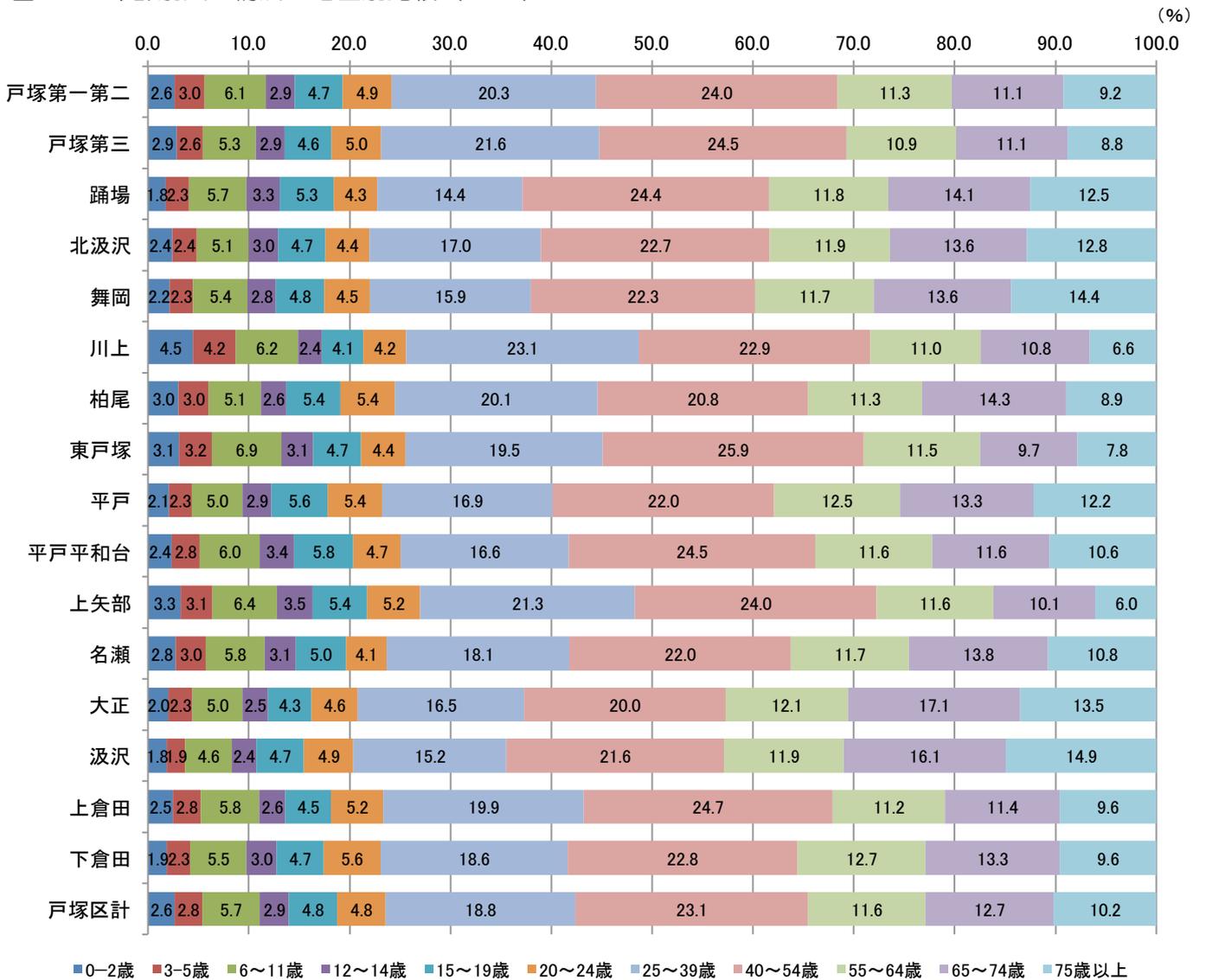
(人/世帯)



13. 地区別比較（3）年齢別人口

*「町丁別年齢別男女別人口」による。9月末現在

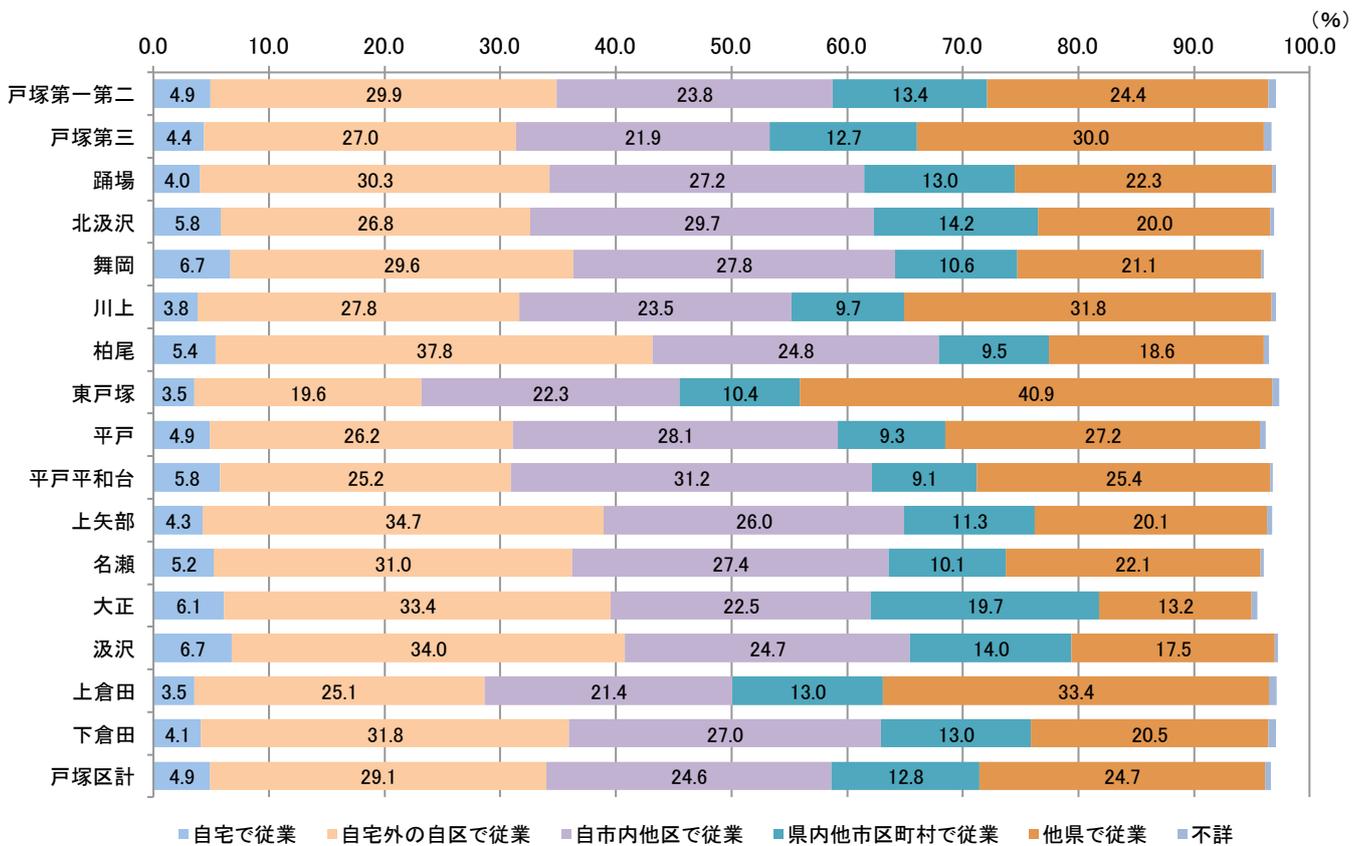
図 39 年齢別人口構成の地区別比較（H26）



14. 地区別比較（4）就業者の従業地

*国勢調査結果による

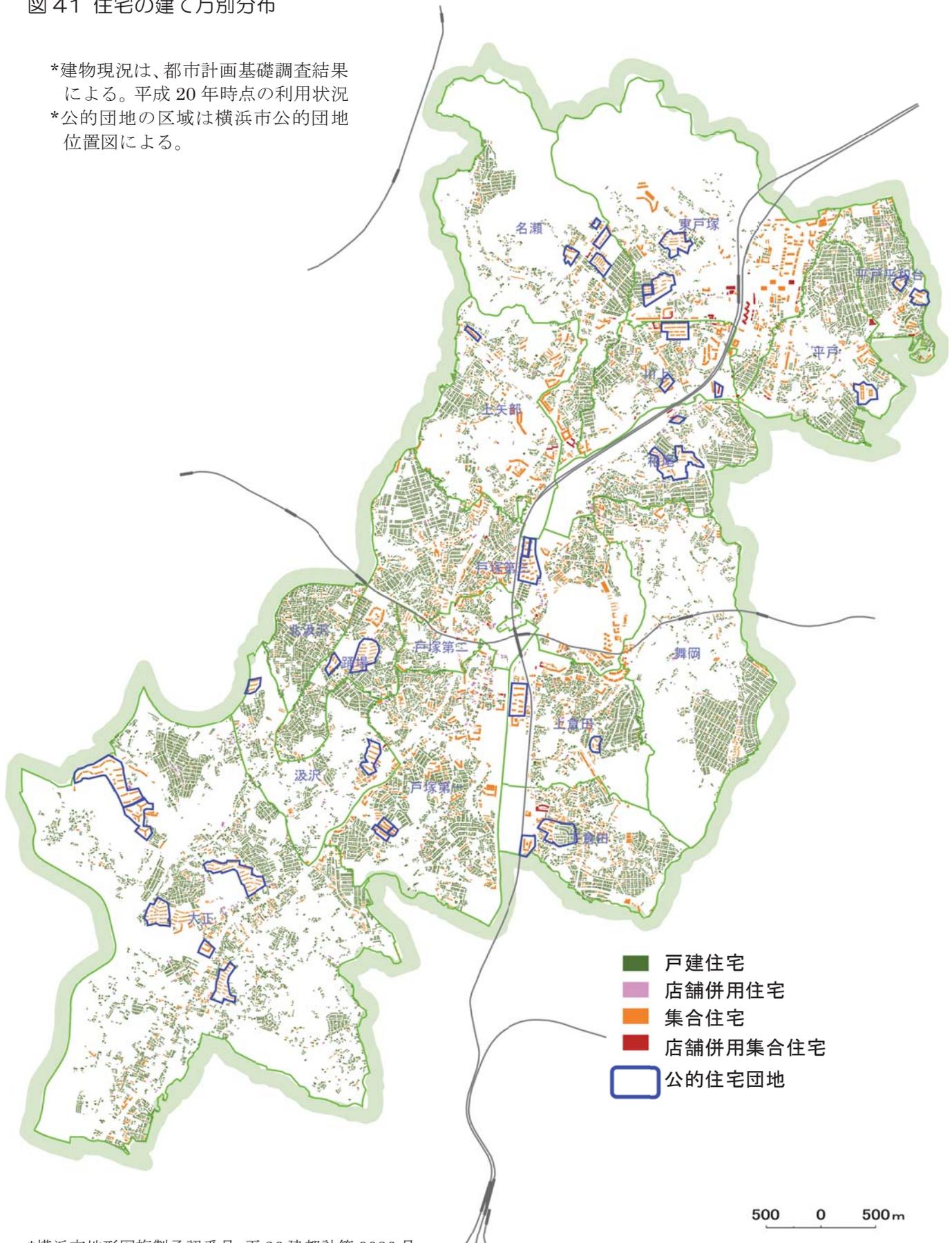
図 40 区内に住む就業者の従業地の地区別比較（H22）



15. 住宅（1）建て方別住宅の分布

図 41 住宅の建て方別分布

*建物現況は、都市計画基礎調査結果による。平成 20 年時点の利用状況
 *公的団地の区域は横浜市公的団地位置図による。



*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

16. 住宅（2）住宅の所有関係、住宅の建て方

*国勢調査結果による

図 42 住宅の所有関係別世帯の地区別比較（H22）

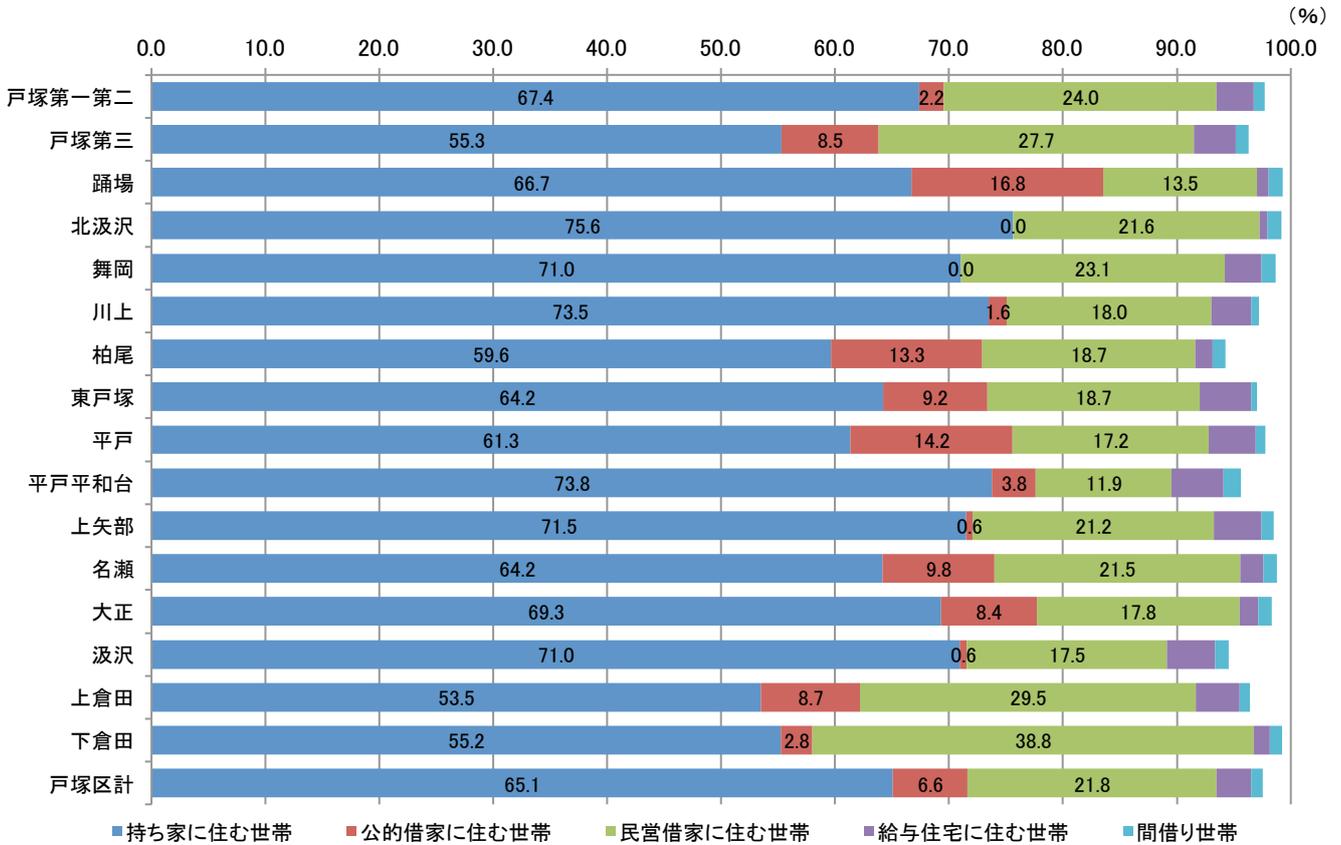
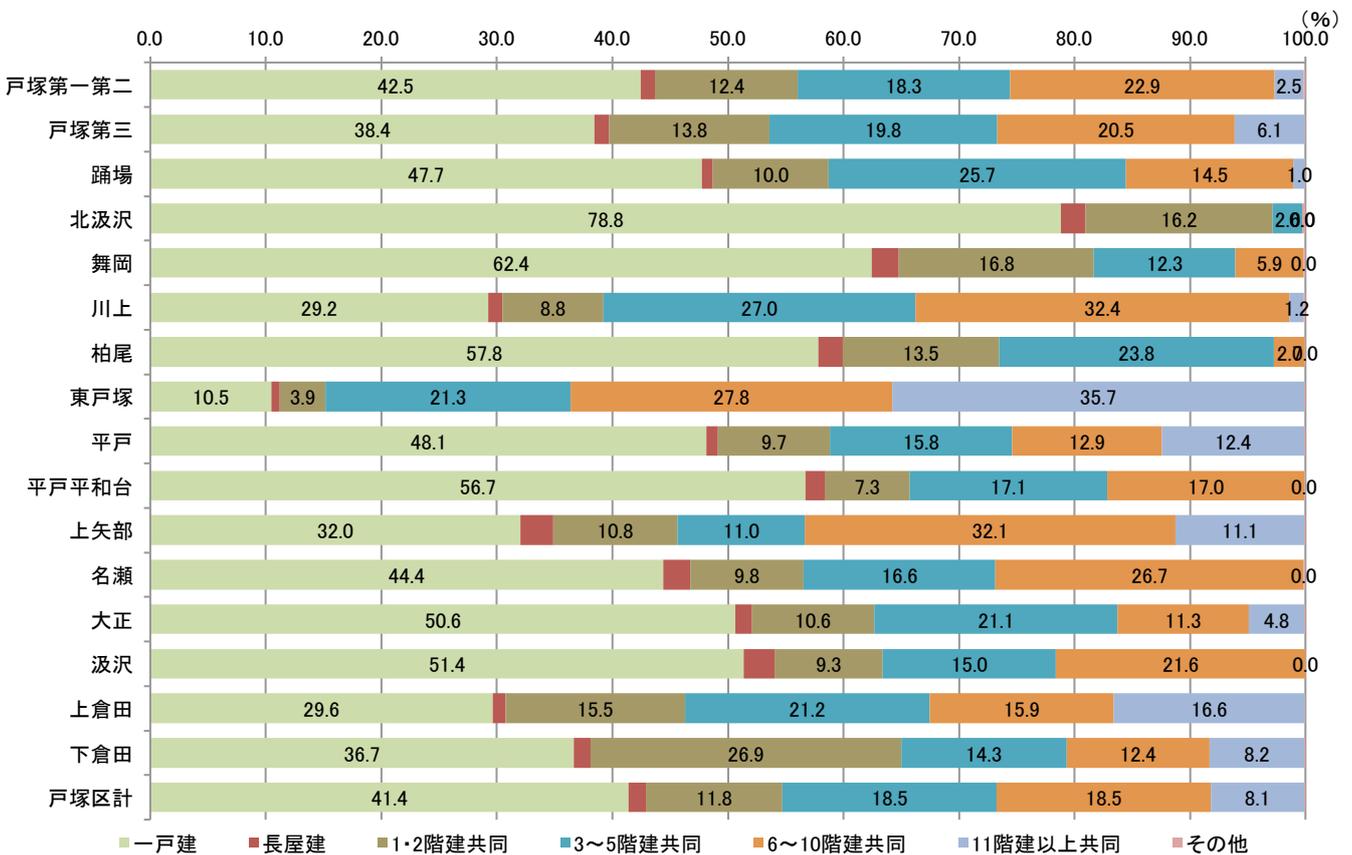


図 43 住宅の建て方別世帯の地区別比較（H22）



17. 居住年数、5年前の住所

*国勢調査結果による

図 44 居住年数別人口の地区別比較 (H22)

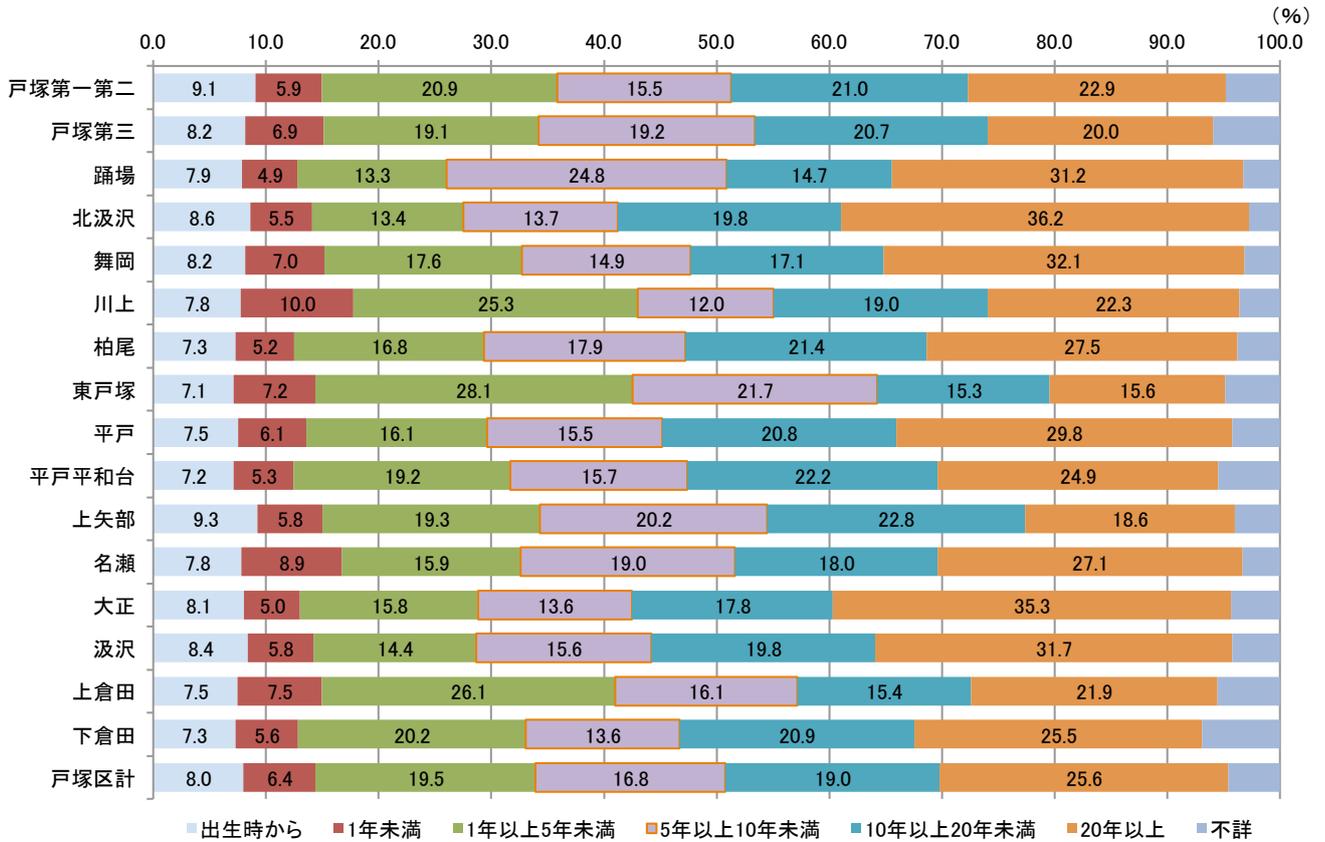
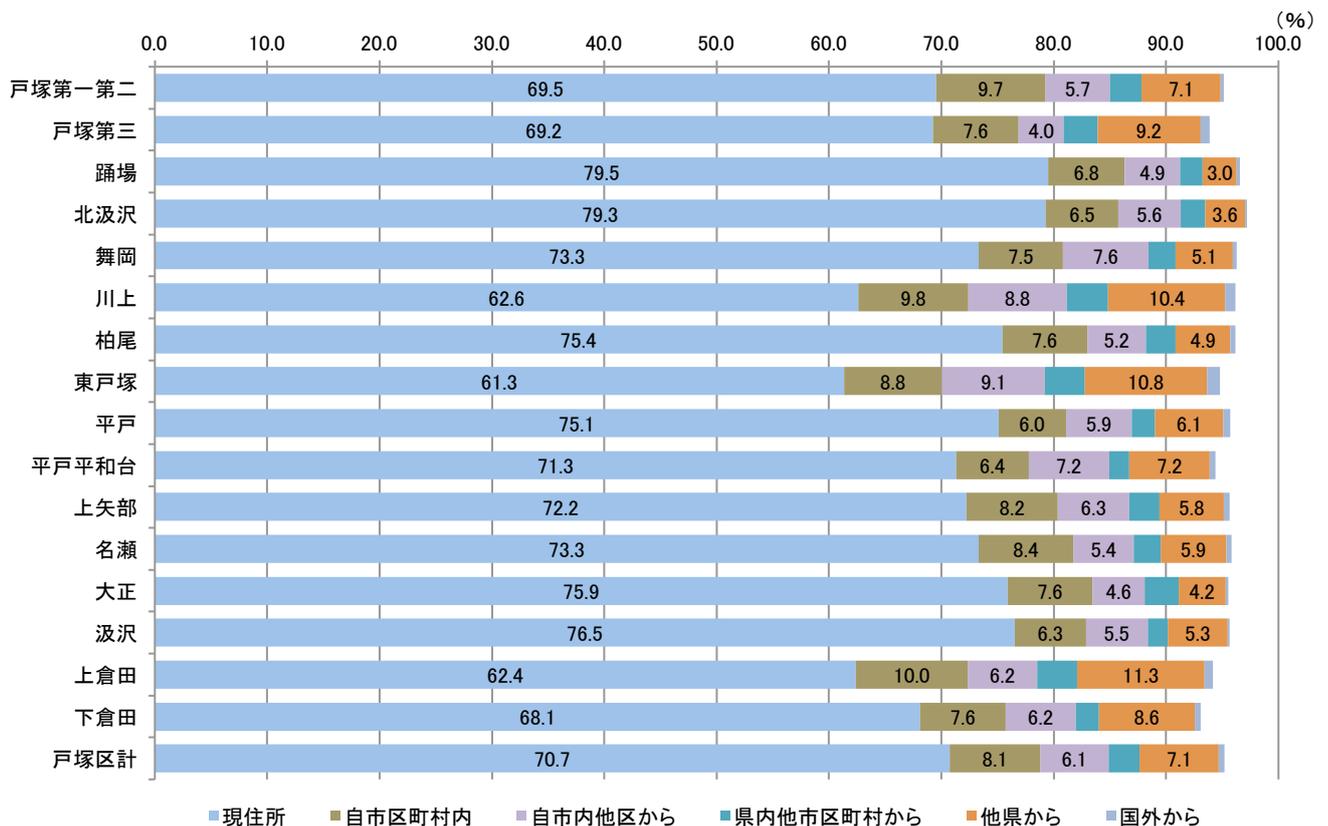


図 45 5年前の住所別人口の地区別比較 (H22)



18. 子育て支援（１）施設の分布

図 46 子育て支援施設の分布

*戸塚区資料による

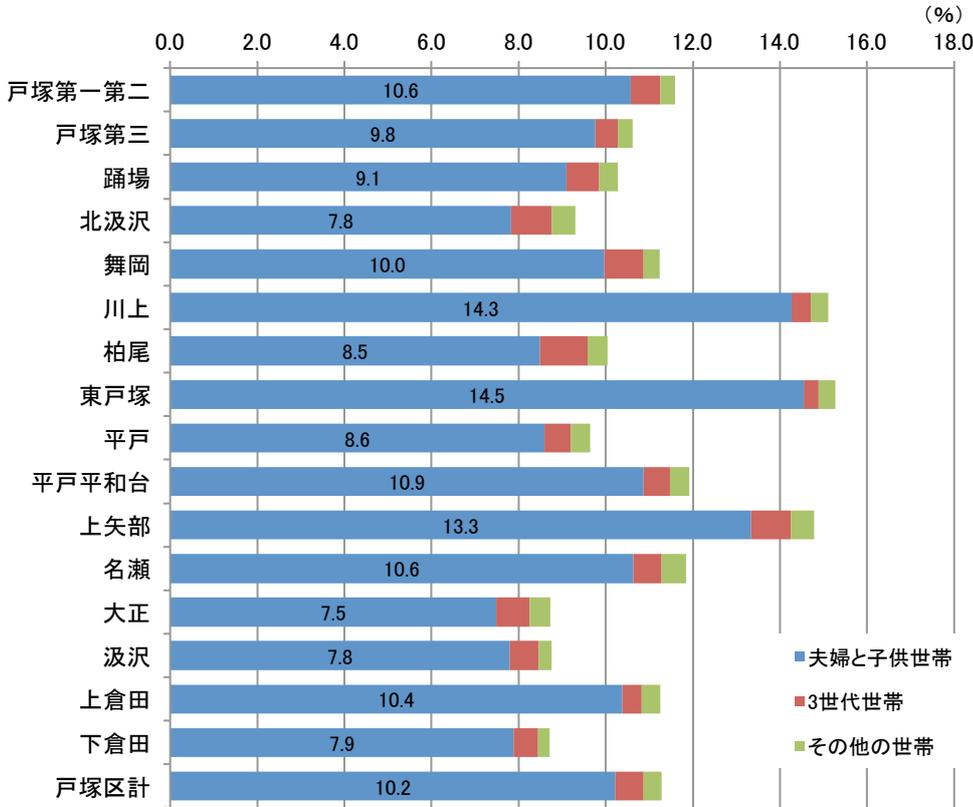
*土地利用現況は、都市計画基礎調査結果による。平成 20 年時点の利用状況。



*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

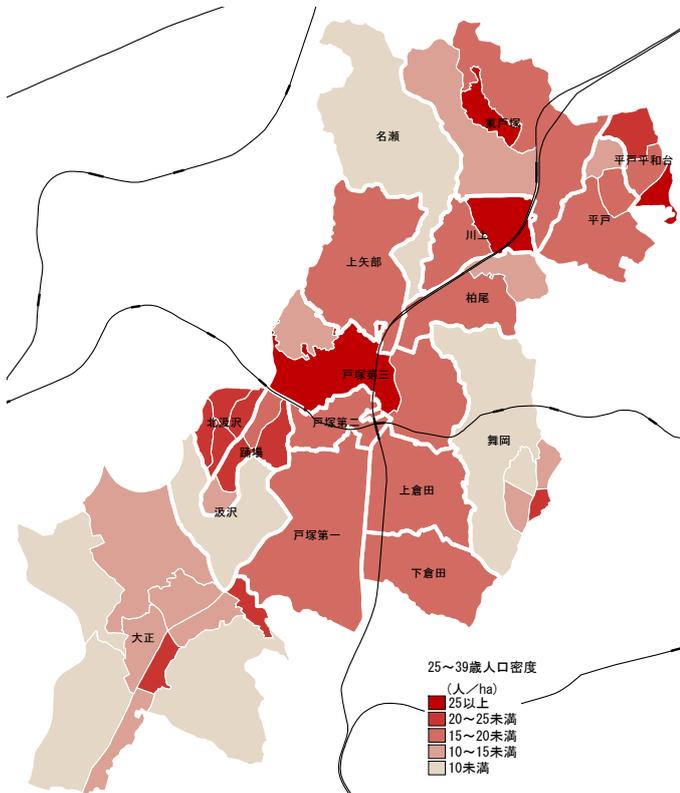
19. 子育て支援（2）子育て世代と就学前の子ども

図 47 6歳未満の子供がいる世帯の地区別比較（H22）*一般世帯数に占める比率



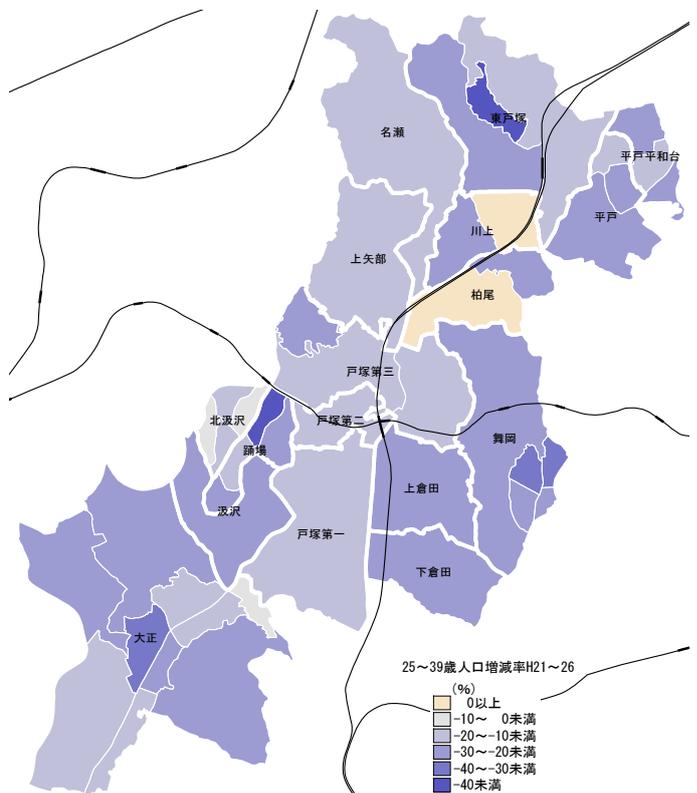
*国勢調査結果による

図 48 25～39歳人口密度（H26）



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による。

図 49 25～39歳人口増減率（H21～26）



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による。

20. 子育て支援（3）子育て世代と就学前の子ども

*各年「町丁別年齢別男女別人口」による。

図 50 0～2 歳人口密度 (H26)

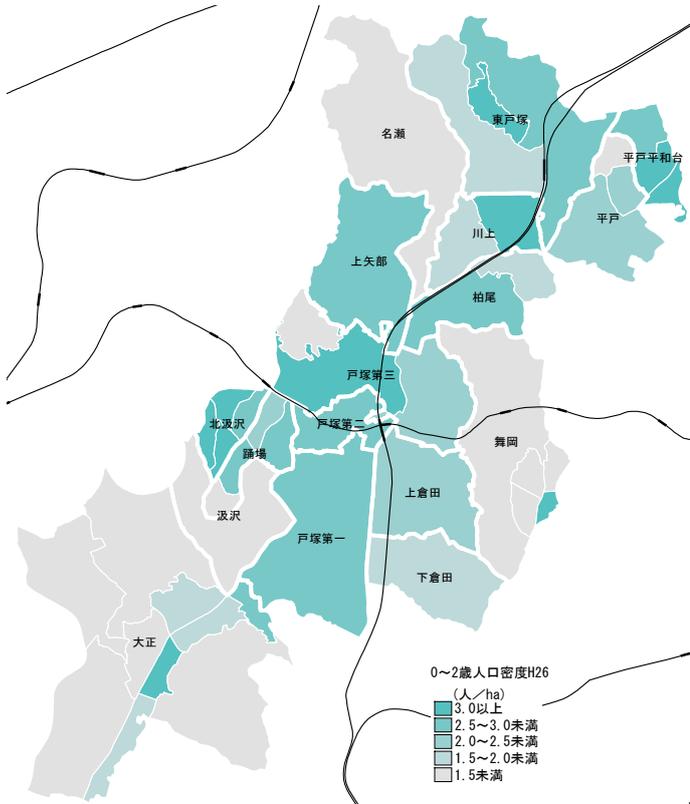


図 51 0～2 歳人口増減率 (H21～26)

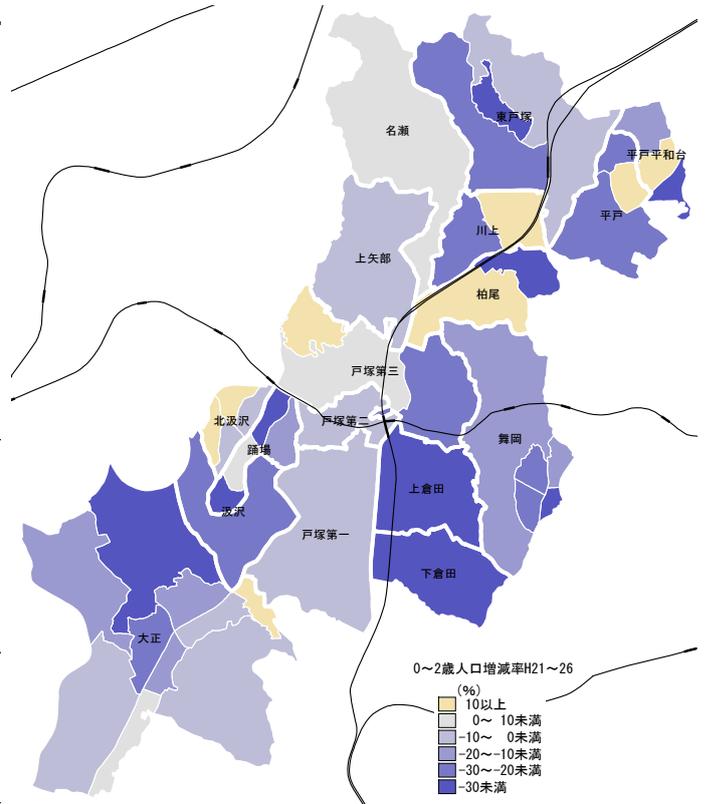


図 52 3～5 歳人口密度 (H26)

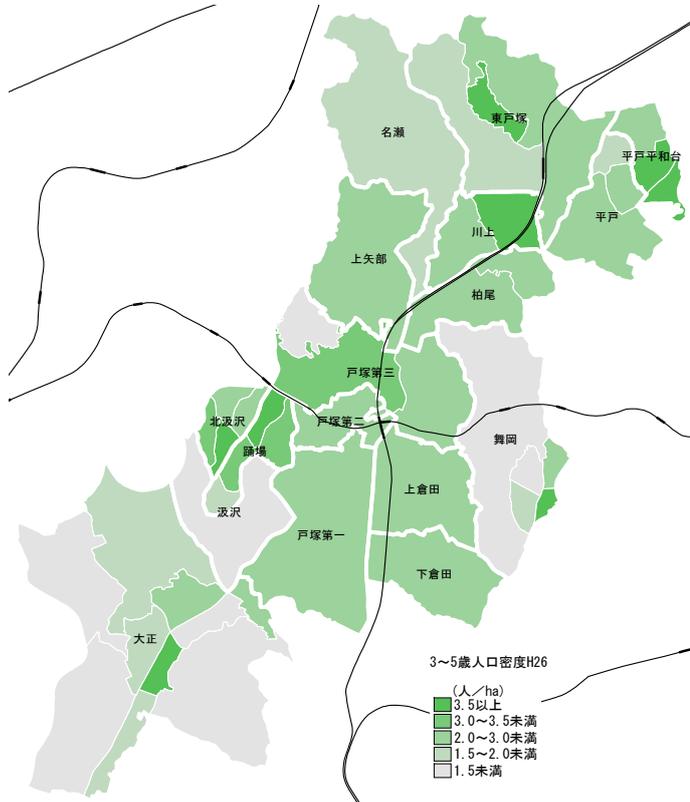


図 53 3～5 歳人口増減率 (H21～26)

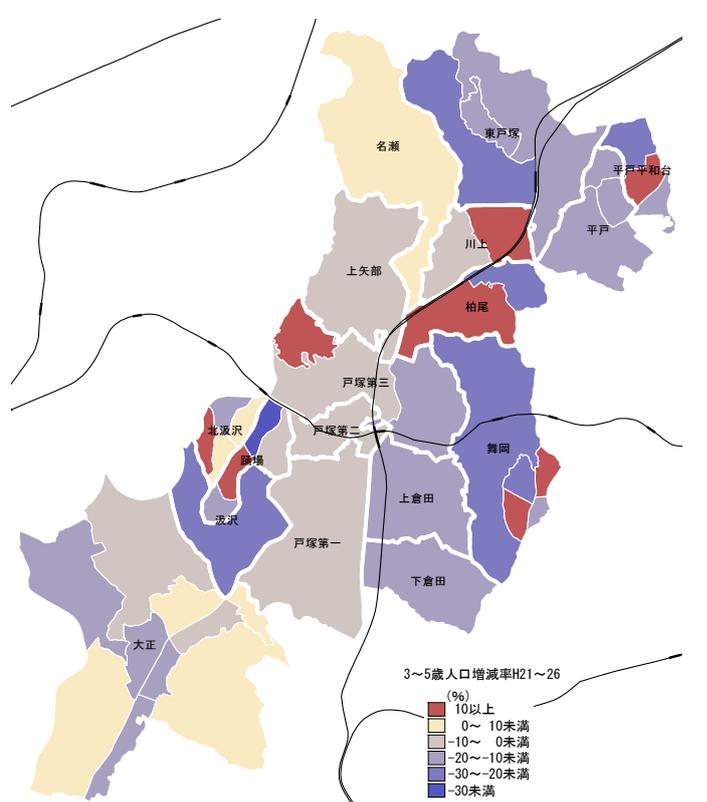


図 54 教育施設の分布



*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

22. 診療所・医院

図 56 診療所・医院の分布

*施設は戸塚区資料、国土数値情報（平成 22 年）により作成。

*土地利用現況は、都市計画基礎調査結果による。平成 20 年時点の利用状況。

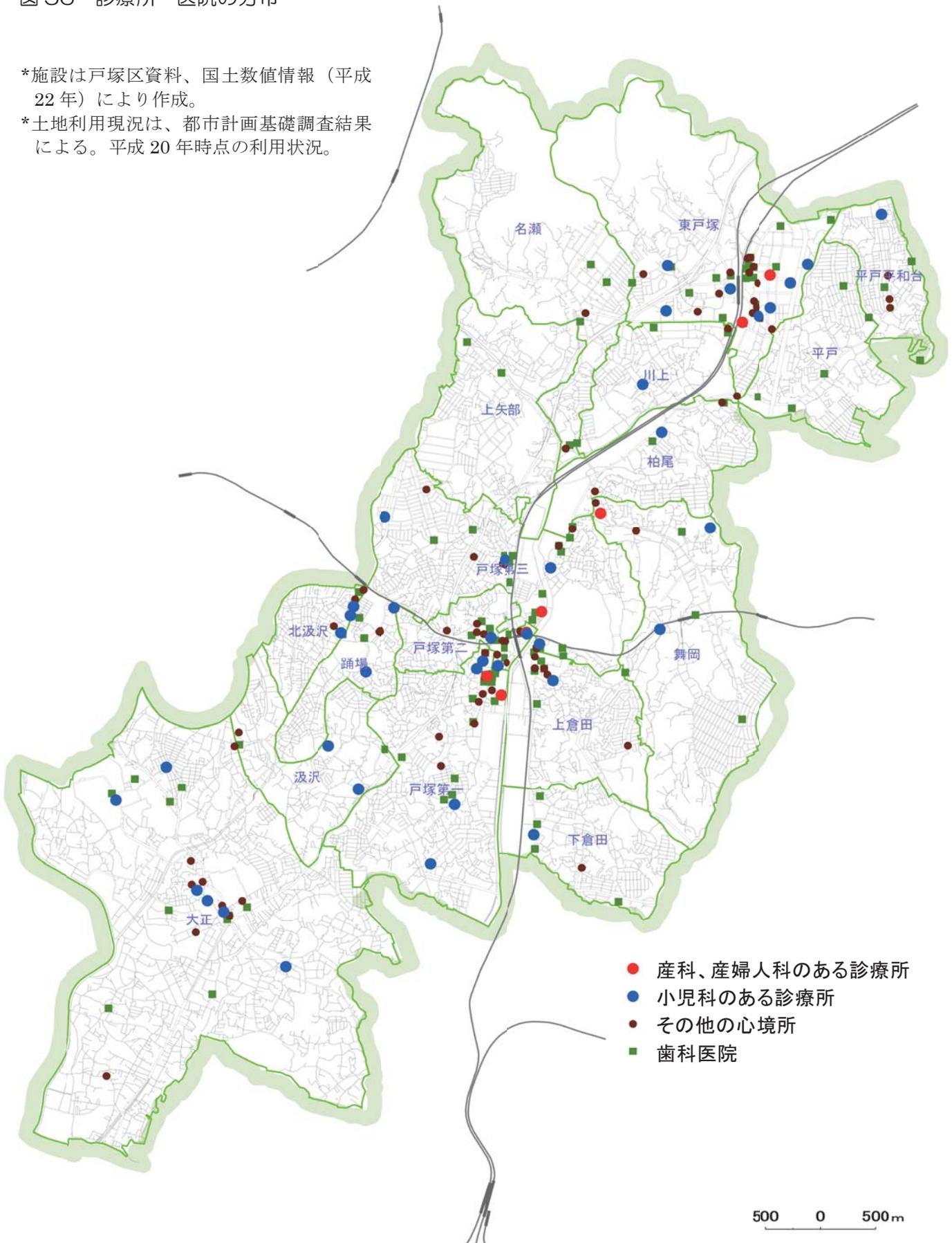


図 57 医療従業者密度

図 58 社会福祉、介護等従業者密度

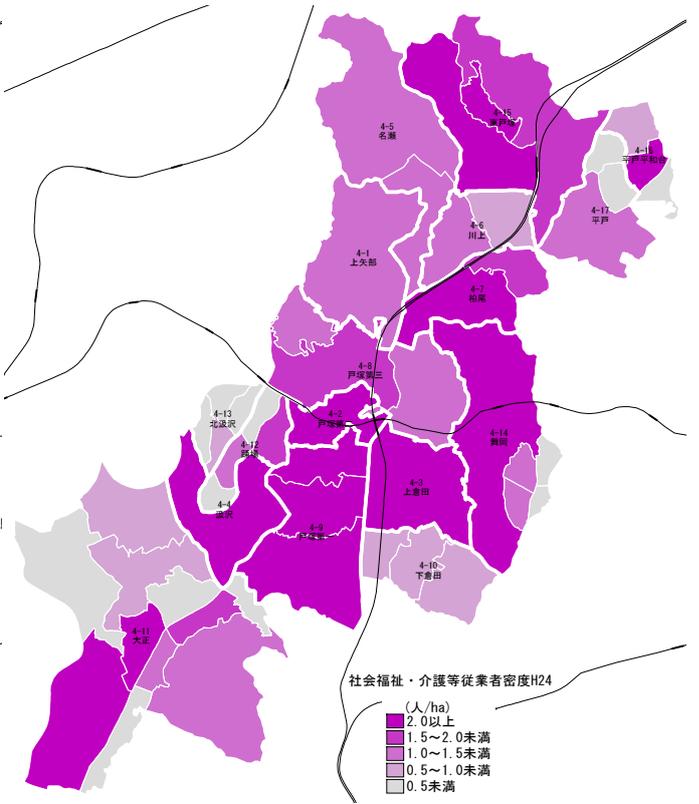
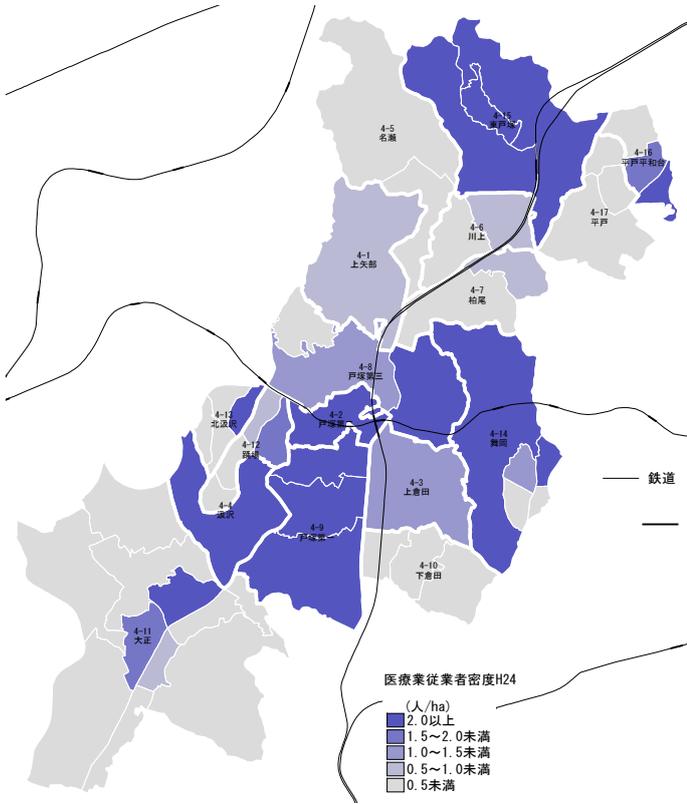
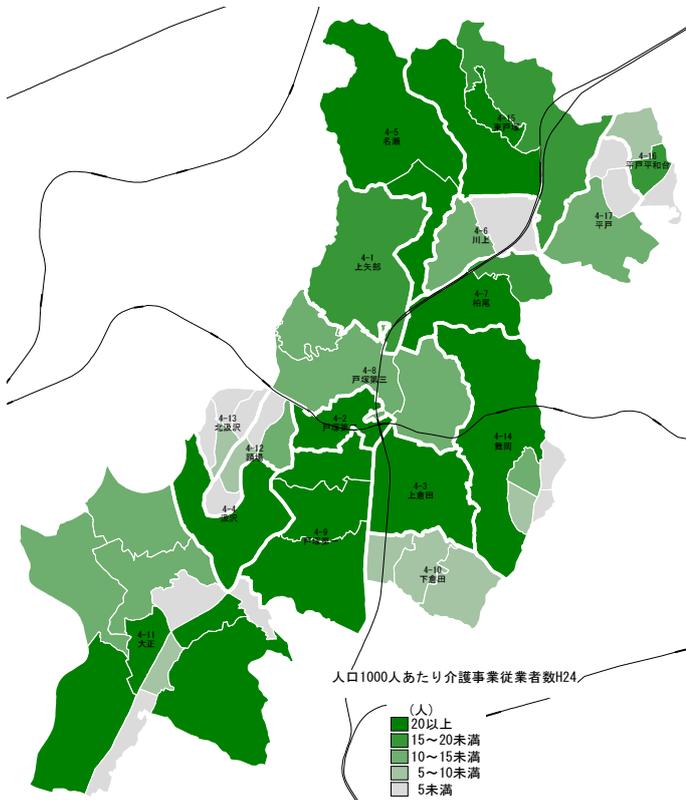


図 59 人口1000人あたり介護事業従業者数



25. 高齢者の動向、高齢者世帯の分布 (1) 高齢者のいる世帯

図 60 65 歳以上の高齢者がいる世帯の地区別比較 (H22) *一般世帯数に占める比率

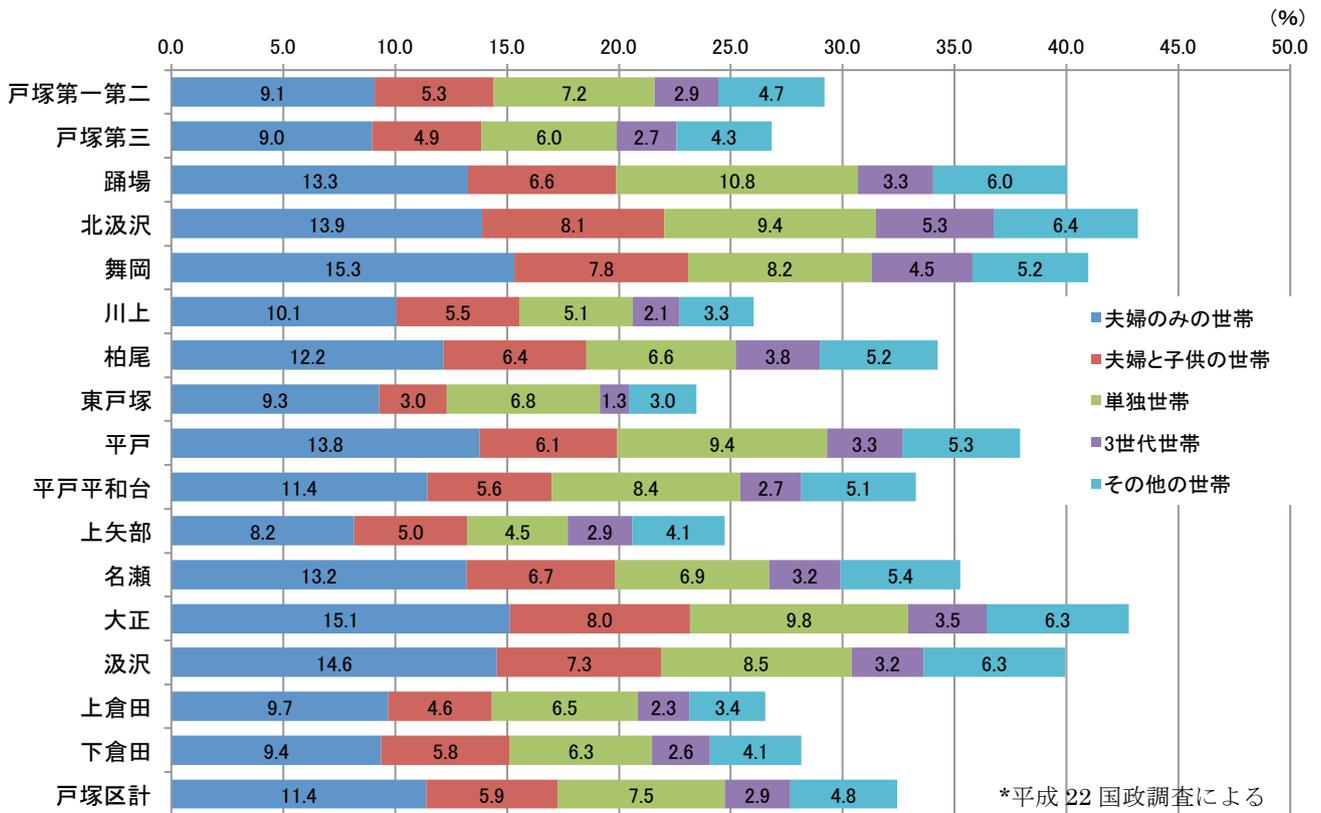
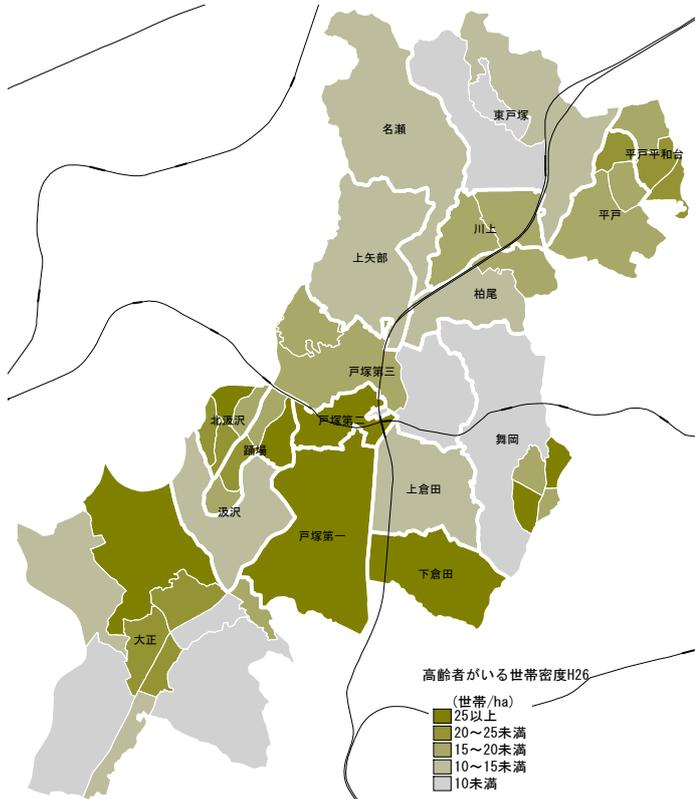


図 61 高齢者がいる世帯密度 (H26)



*戸塚区資料による

図 62 高齢者がいる世帯の増減率 (H21~26)

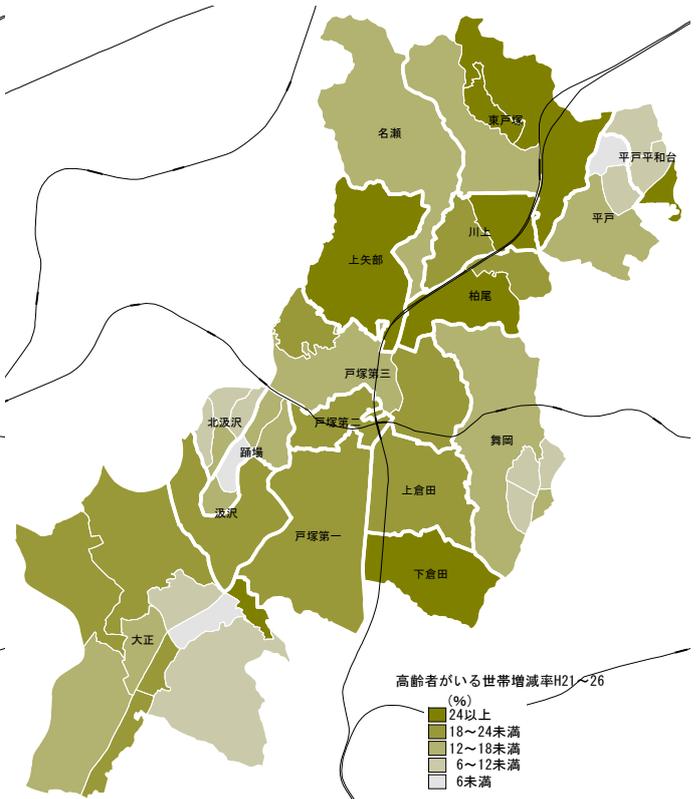


図 63 高齢単身世帯の密度 (H26)

図 64 高齢単身世帯の増減率 (H21~26)

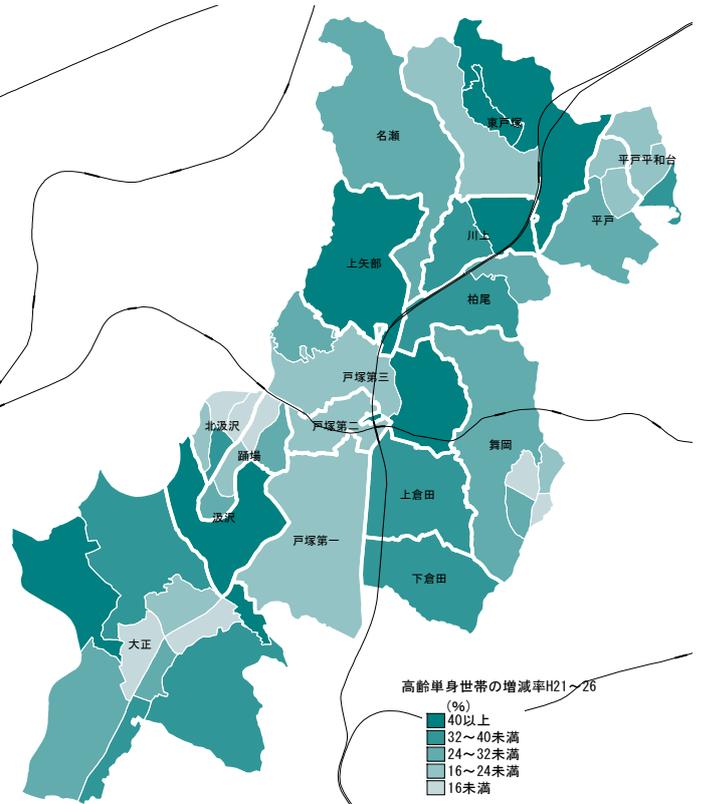
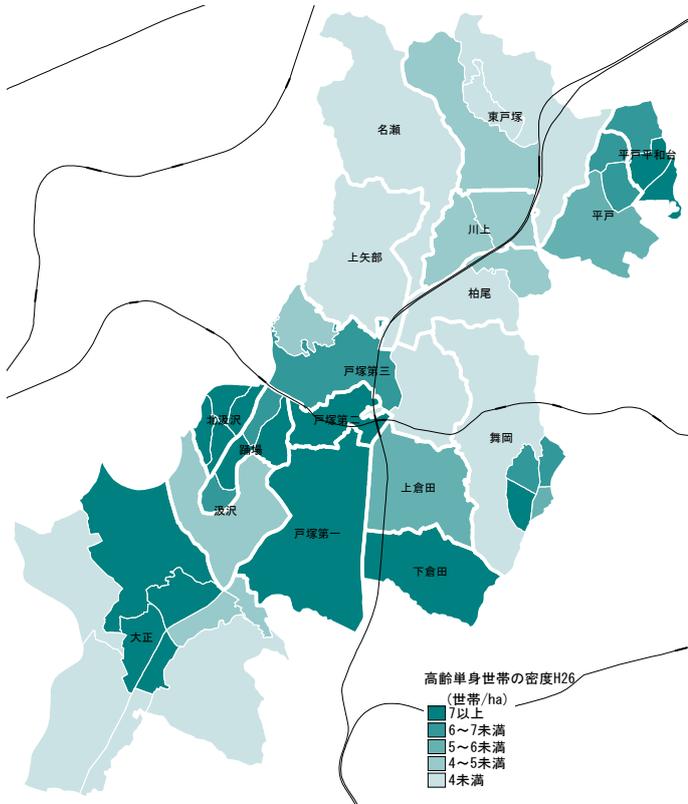
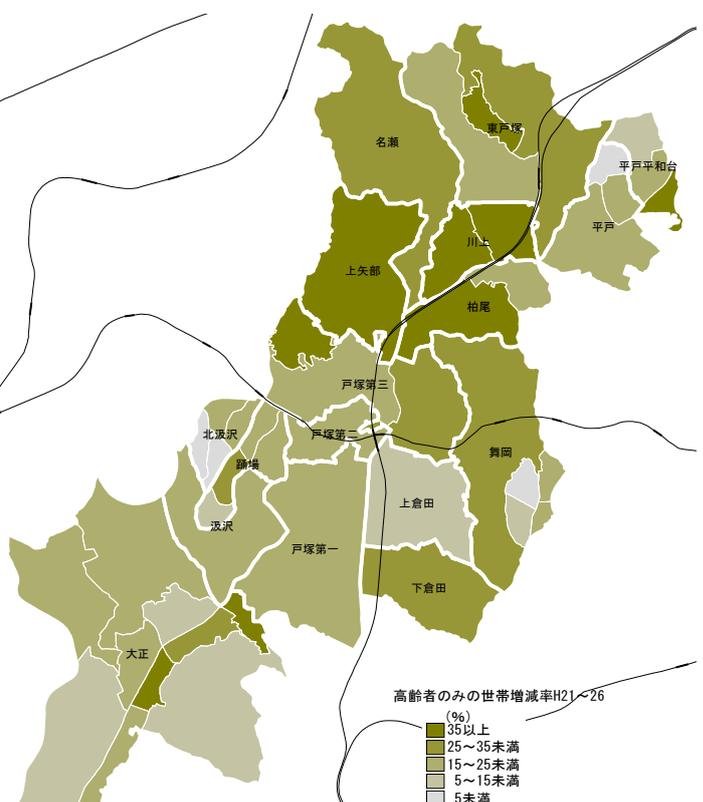
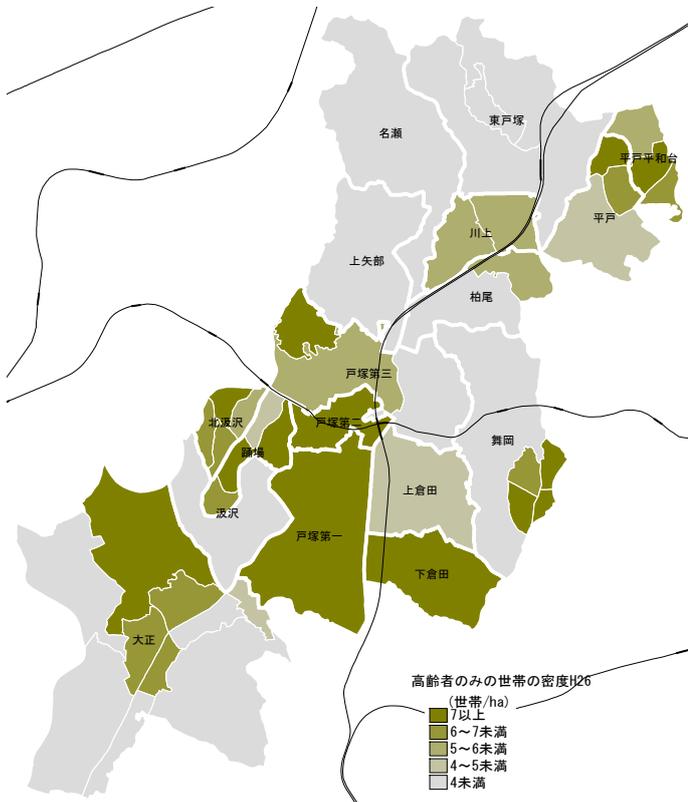


図 65 高齢者のみの世帯の密度 (H26)

図 66 高齢者のみの世帯の増減率 (H21~26)



*高齢者のみの世帯に、高齢単身世帯は含まない

27. 避難場所等

図 67 避難場所等の位置

*戸塚区資料による

*土地利用現況は、都市計画基礎調査結果による。平成 20 年時点の利用状況。



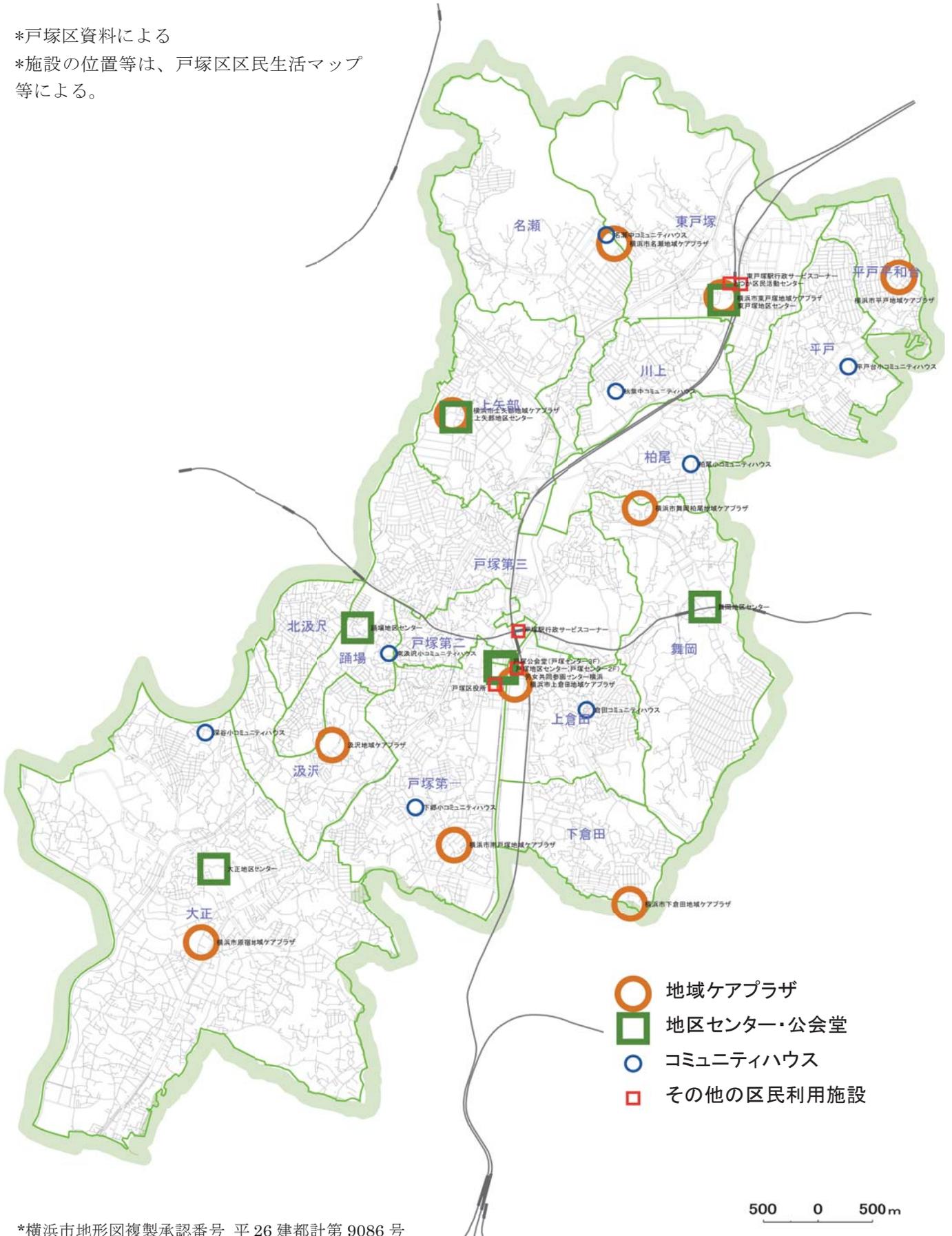
*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

28. 区民利用施設

図 68 区民利用施設の分布

*戸塚区資料による

*施設の位置等は、戸塚区区民生活マップ等による。



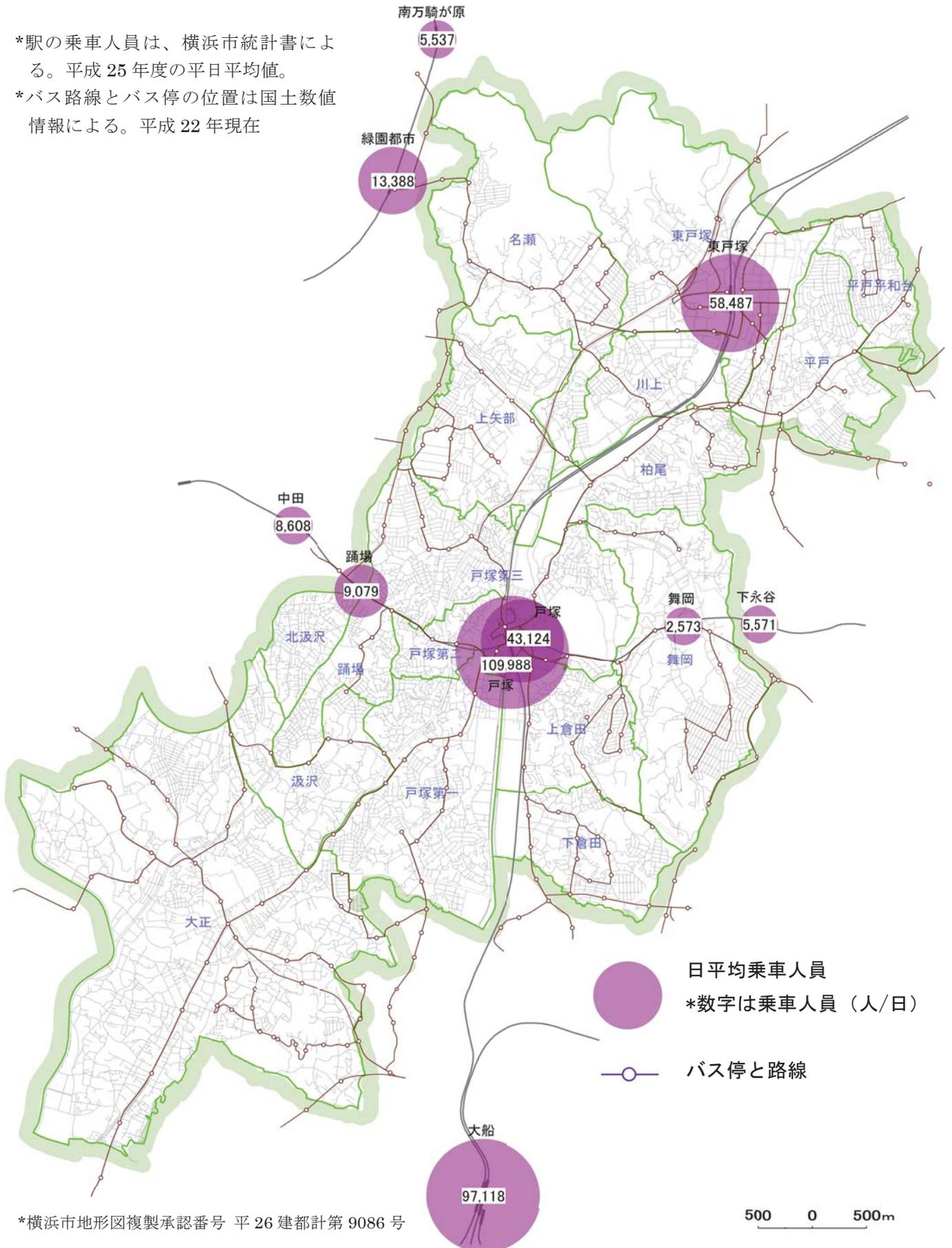
*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

29. バスの運行状況と鉄道利用状況

図 69 バスの運行状況と鉄道利用状況

*駅の乗車人員は、横浜市統計書による。平成 25 年度の平日平均値。

*バス路線とバス停の位置は国土数値情報による。平成 22 年現在

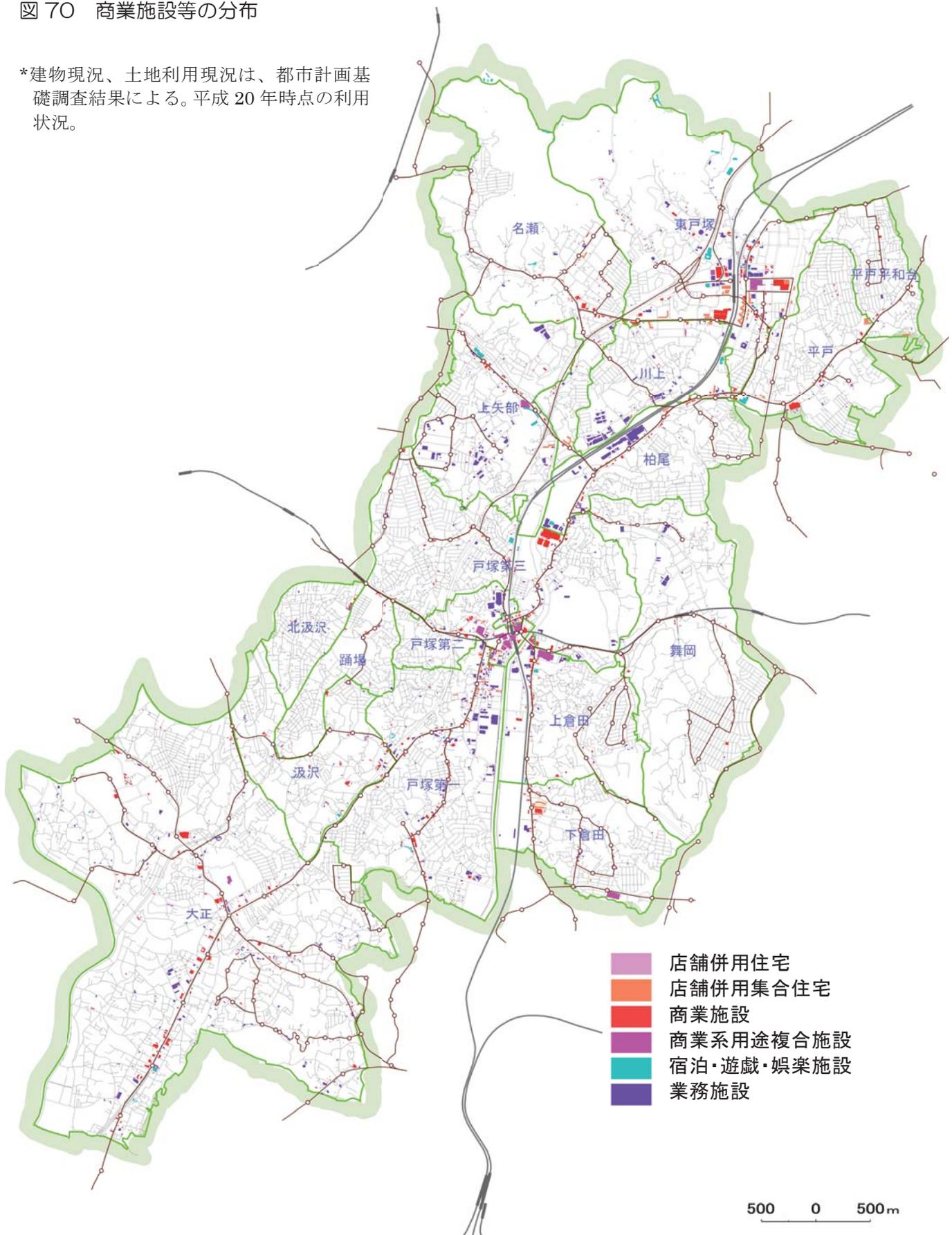


*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

30. 商業施設等の分布

図 70 商業施設等の分布

*建物現況、土地利用現況は、都市計画基礎調査結果による。平成 20 年時点の利用状況。



*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号

図 71 飲食料品小売業従業者密度

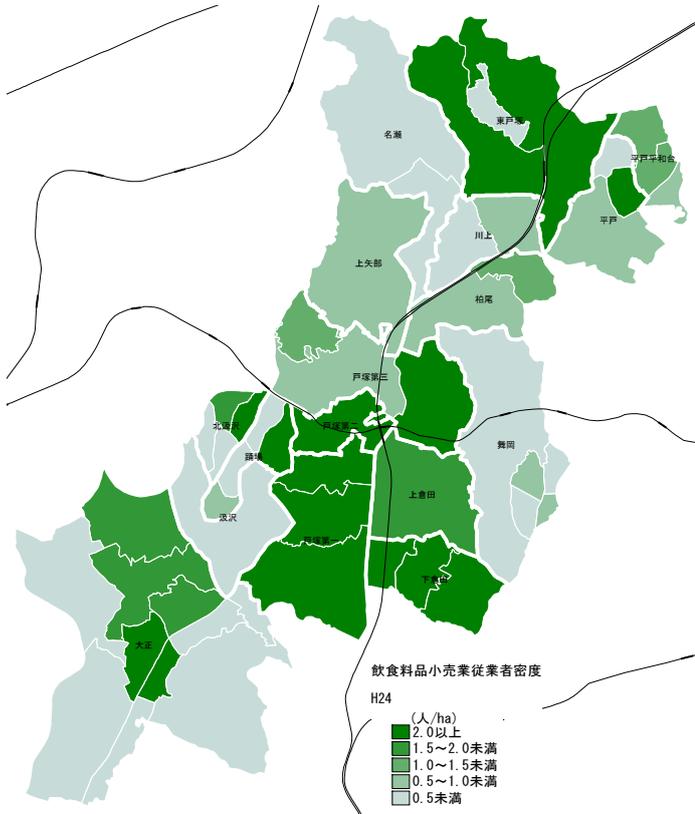


図 72 飲食店従業者密度

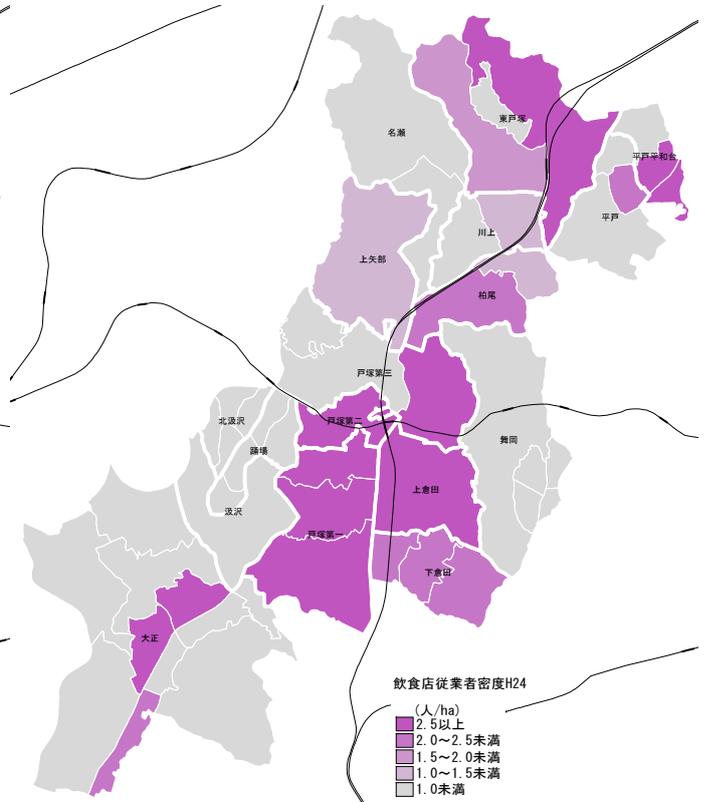


図 73 生活関連サービス業等従業者密度

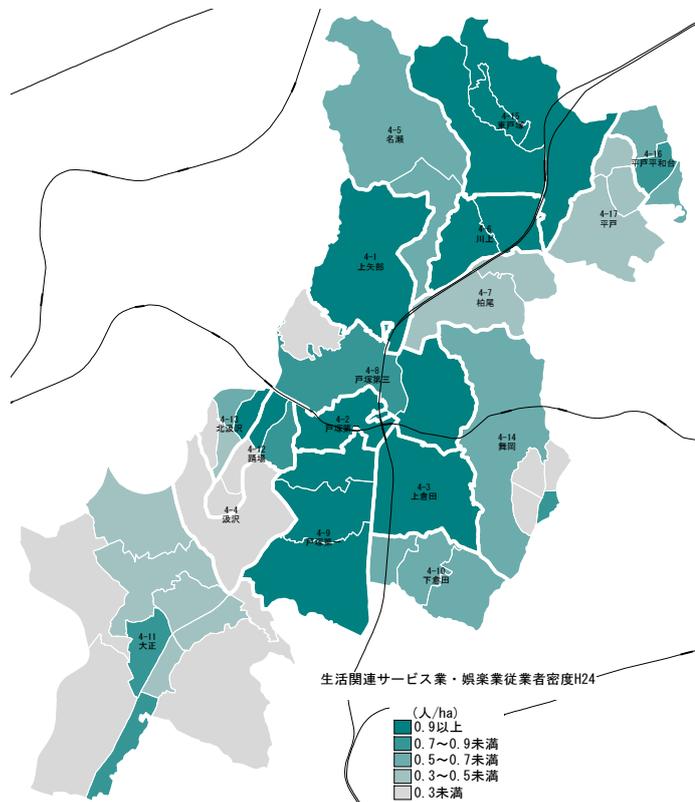
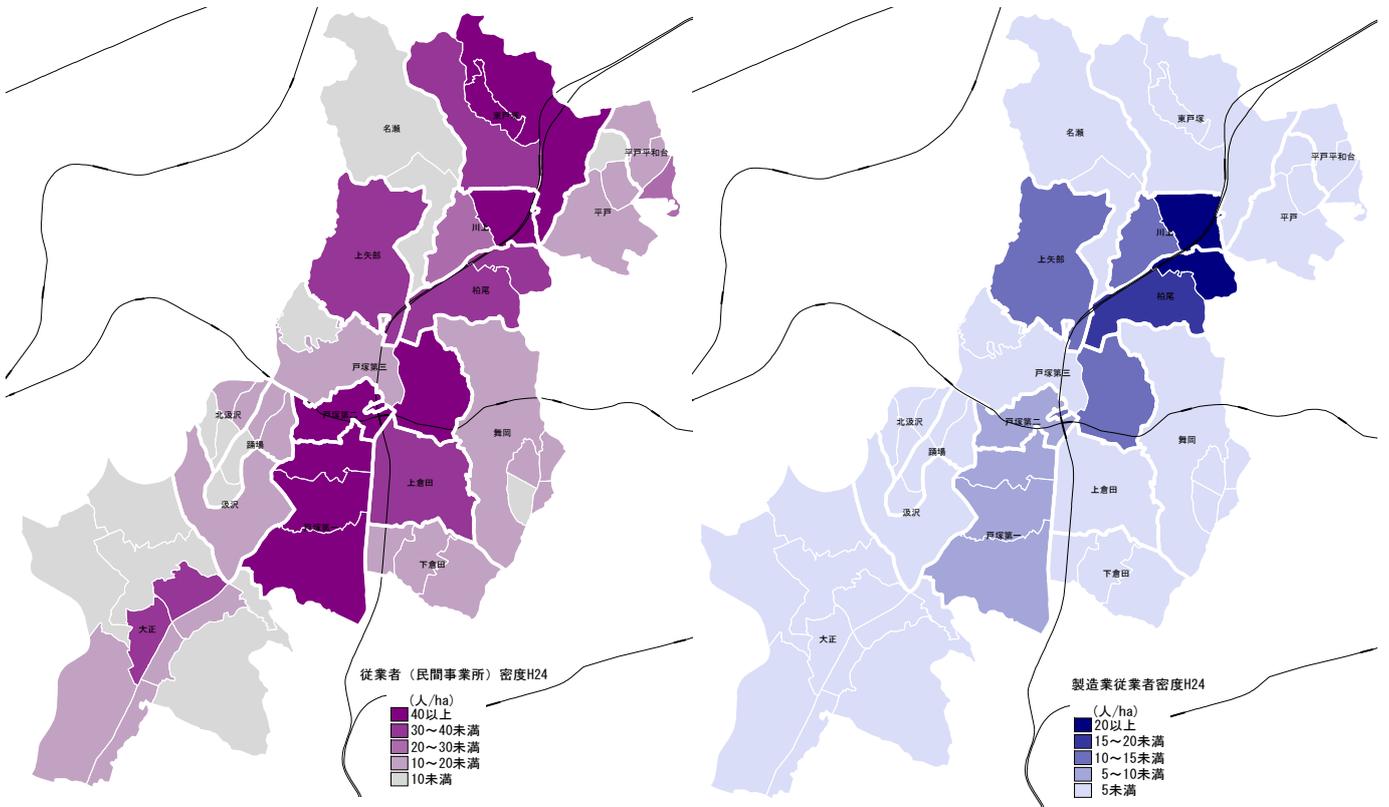


図 75 事業所の従業員（民間総数）密度

図 76 製造業の従業員密度

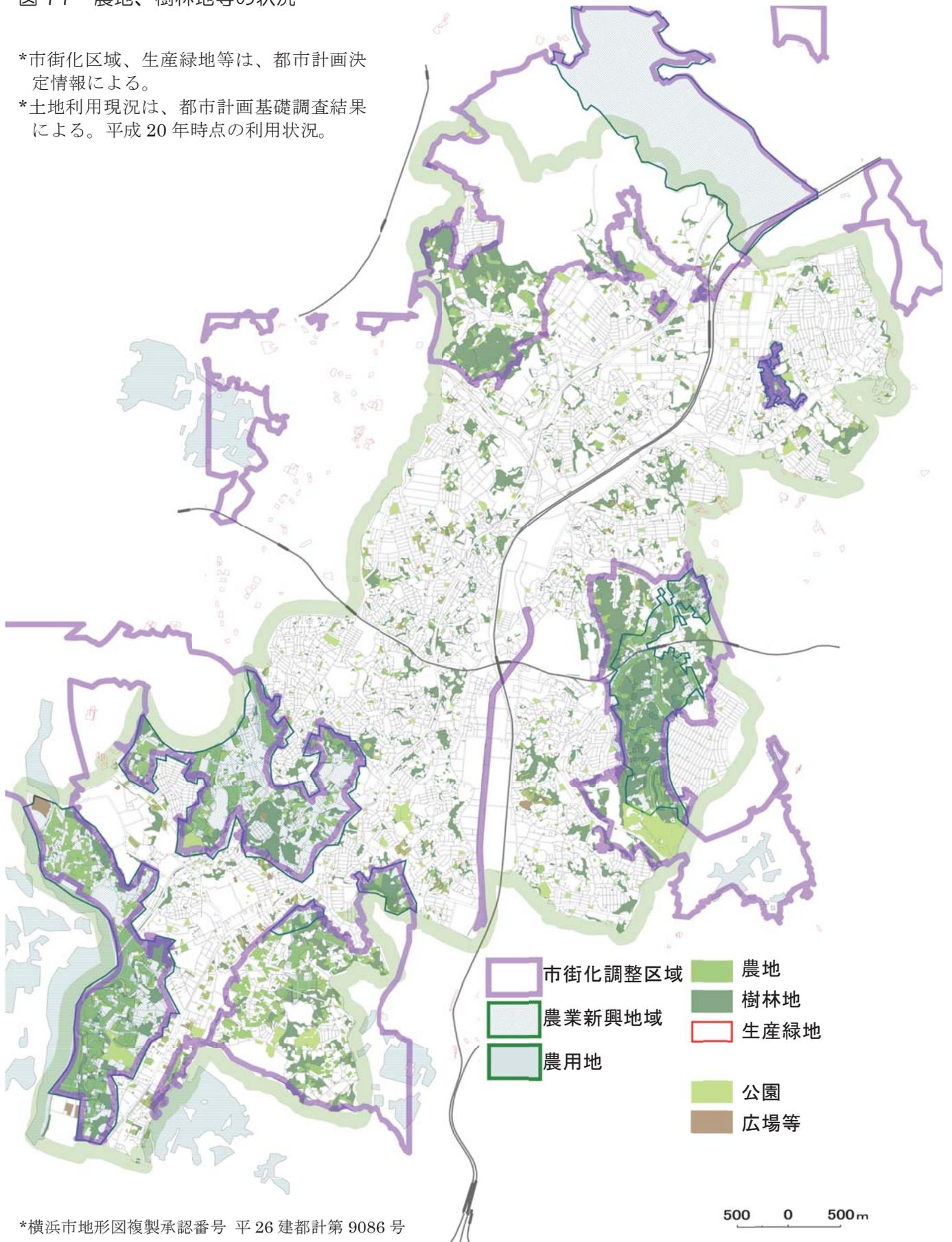


34. 農地、樹林地等の状況

図 77 農地、樹林地等の状況

*市街化区域、生産緑地等は、都市計画決定情報による。

*土地利用現況は、都市計画基礎調査結果による。平成 20 年時点の利用状況。



*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9086 号